

保証書

本書は、本書記載内容で無料修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

お客様	お名前	電話番号	-	-
	様			
	ご住所 〒			
型式	DW-312	販売元社名		®
ご購入日	年 月 日	住所 〒		
保証期間	ご購入日より1年間	電話番号	-	-

<無料修理規定>

- ① 取扱説明書・本体添付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合は、無料修理いたします。
- ② この商品は出張修理させていただきますので、出張修理に際して本書をご提示ください。
- ③ 保証期間内でも次の場合は有料修理になります。
 - (1) 維持管理の不備や取扱説明書に記載している警告・注意事項および内容を守らず使用された場合の故障および損傷
 - (2) お買い上げ後の取付け・取付場所の移設・輸送・落下などによる故障および損傷
 - (3) 車両・船舶などでの使用による故障および損傷
 - (4) 専門業者以外の修理・分解・改造などによる故障および損傷
 - (5) 当社の手配によらない第三者による組立上の不注意・過失による故障および損傷
 - (6) 消耗部品の消耗による故障および損傷
 - (7) 消耗部品の取替えおよび保守などの費用
 - (8) 経年変化による変色・キズ・カビの発生・汚れの固着・摩耗・劣化・使用に伴う外観変化
 - (9) 砂・ゴミかみによる故障および損傷
 - (10) 指定規格以外の電源(電圧・周波数)・水圧などによる故障および損傷
 - (11) 火災・爆発などの事故・地震・水害・落雷・凍害などの天災地変・公害・ガス害(硫化水素ガス・塩素ガスなど)・塩害による故障および損傷
 - (12) 動物や虫などによる故障および損傷、またその死骸の製品内残留による故障および損傷
 - (13) 温泉水・井戸水など、水道関連法令に定める飲料用水水質基準に適合しない水を給水したことによる故障および損傷
 - (14) 製品の凍結による故障および損傷
 - (15) 購入時、実用化されていた技術では予防することが不可能な事象、またこれらが原因で生じた事故による故障および損傷
 - (16) 製品に接続している他の機器が原因で生じた故障および損傷
 - (17) キズなど、外観の不具合で購入時に申し出がなかったもの
 - (18) 保証期間経過後に申し出があった、または保証該当事項の発生後、速やかに申し出がなかった故障および損傷
 - (19) 本書の提示がない場合
 - (20) 本書に必要な事項の記入がない場合、また字句が書き換えられた場合
- ④ 本書は日本国内においてのみ有効です。
- ⑤ 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

※修理を依頼される前に、**P.33・34**の「故障かな?と思ったら」を確認してください。

<ご連絡いただきたい内容>

- お客様のお名前・ご住所・電話番号 ●型式「DW-312」 ●製造番号 ●故障の状況(できるだけ具体的に)



〈製造元〉
株式会社Deto
〒500-8844
岐阜県岐阜市吉野町6-14大樹生命岐阜駅前ビル7階
Detoコールセンター
0120-571-131
【受付時間】9:00~18:00(土日を除く)

201910.1



本製品は、リフォーム構造により、お客様ご自身で部品を一部交換(有償)することが可能で、きれいな状態を保つことが出来ます。 **→P.35・36**

温水洗浄便座 型式 DW-312 パブリック向け

取扱説明書 施工説明書付 保証書付

貯湯式で2012年度省エネ基準達成率122%



かんたん使いこなしマニュアル

このたびは、当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にご使用ください。お手入れ方法や操作方法をわかりやすくご説明させていただいております。
- ご使用前に「安全上のご注意 →P.1~4」を、必ずお読みください。
- 保証書は、本書「裏表紙」についております。ご購入日などの記入を確かめ大切に保管してください。
- 写真やイラストは説明用のため、実際とは多少異なります。

もくじ	
安全上のご注意	1
各部の名称	5
取付方法(施工説明書)	7
主な使用方法	17
機能の設定【便座/洗浄水の温度】【節電】	19
機能の設定【自動擬音機能】【自動脱臭機能】	21
その他の機能	22
お手入れ・掃除の方法	23
凍結予防・長期間使用しないとき	31
故障かな?と思ったら (よくあるお問い合わせ)	33
交換部品	35
仕様	37
重大事故防止のためのお願い	38
保証書	裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください

安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、正しくお使いください。

警告 死亡や重傷を負うおそれがある内容です。

注意 傷害や物的損害が発生するおそれがある内容です。

してはいけない禁止の内容です。

実行しなければならない強制の内容です。

警告

警告

安全上のご注意

安全上のご注意

火災・感電のおそれ

本体や電源プラグに水や洗剤などをかけない
(感電・ショートによる火災の原因)

たばこなどの火気類を近づけない
(火災の原因)

禁止

- 電源コード・電源プラグは傷つけたり破損させない
(無理に曲げる・ねじる・引っばる・加熱する・加工する・重い物を載せる・束ねるなど)
- 損傷した電源コード・電源プラグは使用しない
- 電源プラグの抜き差しは、濡れた手でしない

電源コードや電源プラグは正しく使用する
(火災・感電の原因)

- 指定のコンセント(定格15A・交流100V)を単独で使用する
- 電源プラグは根元までしっかり差し込む
- 電源プラグの抜き差しは、コードを持たずに必ず電源プラグを持って行う
- トラッキング現象*防止のため、電源プラグのほこり、汚れなどは定期的に掃除する

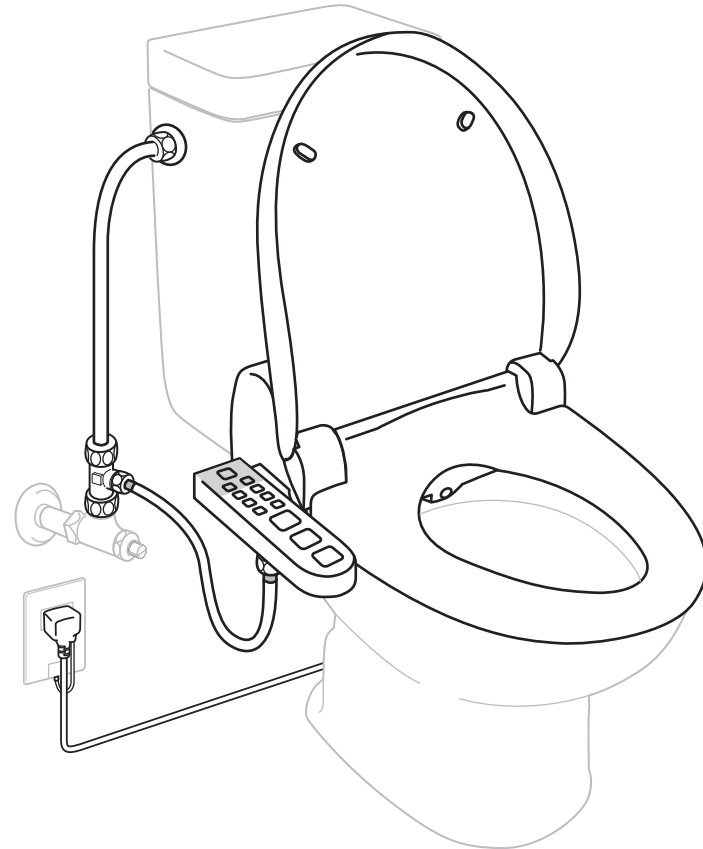
実行する

※トラッキング現象
電源プラグにたまったほこりと湿気により、微小電流が流れ、そのまま使用し続けると、ショートし発火する現象です。

- ノズル以外のお手入れ・掃除のときは電源プラグを抜く

アース工事をする [アース線接続例]
(漏電時の感電の原因)

- D種接地工事をする
- コンセントのアース端子にアース線を取り付ける



故障したままでは使用しない
(火災・感電・ケガ・室内浸水の原因)

- 異常・故障時には電源プラグを抜き、止水栓を閉め、直ちに使用を中止する

禁止

下記項目に当てはまる場合はすぐに販売元に連絡してください。→裏表紙

配管接続部や本体内部で水漏れしている・本体にひび割れや破損がある・異音(脱臭ファンや作動時の音を除く)や異臭(こげ臭)がする・電源プラグや電源コードが異常に熱くなっている・電源コードを動かすと、電源が切れたり、入ったりする・発煙しているなど

お手入れの際は…

水を抜くときや本体を立てる時は必ず電源プラグを抜く
(感電・火災の原因)

実行する

隙間のお手入れの際には針金などの金属を使用しない
(感電・ショートによる火災の原因)

禁止

低温やけどのおそれ

低温やけどを予防する
便座に長時間皮膚が触れていると、低温やけどの原因になります。特に以下のような方が使用される場合は、まわりの方が温度調節などに注意してください。

実行する

お子様・高齢者・皮膚の弱い方・皮膚感覚の弱い方・自分で温度調節が困難な方・眠気を誘う薬(風邪薬・睡眠薬など)を服用された方・深酒の方・疲労の激しい方・特に高齢者や介護が必要な方などのご使用には注意してください。

身体への著しい障害を予防する
化学療法を受けている方、免疫不全症の方など、極度に免疫力が低下して医師の治療を受けている方は、ご使用前に必ず医師に相談してください。

実行する

施工前のご注意

取付方法(施工説明書)に従って施工する →P.7~16
(水漏れ・火災・感電の原因)

同梱部品および指定の部品を使用し施工する
(水漏れ・火災・感電の原因)

電気工事は内線規程に従って施工する
(火災・感電の原因)

禁止

車両や船舶などの移動体には設置しない
(感電・ショートによる火災の原因)

日本の上水道以外では使用しない
(故障・皮膚の炎症などの原因)

水場使用禁止

バスルームや湿気が多い場所には設置しない
(火災・感電の原因)

分解禁止

修理技術者以外の方が分解、修理をしない
(感電・発火・異常作動によるケガの原因)

安全上のご注意

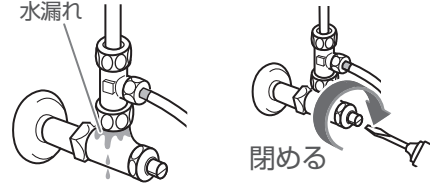
必ずお守りください

安全上のご注意

⚠ 注意

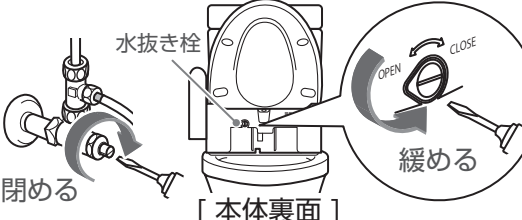
水漏れによる室内浸水のおそれ

水漏れが発生したときは
止水栓を閉める
(室内浸水の原因)

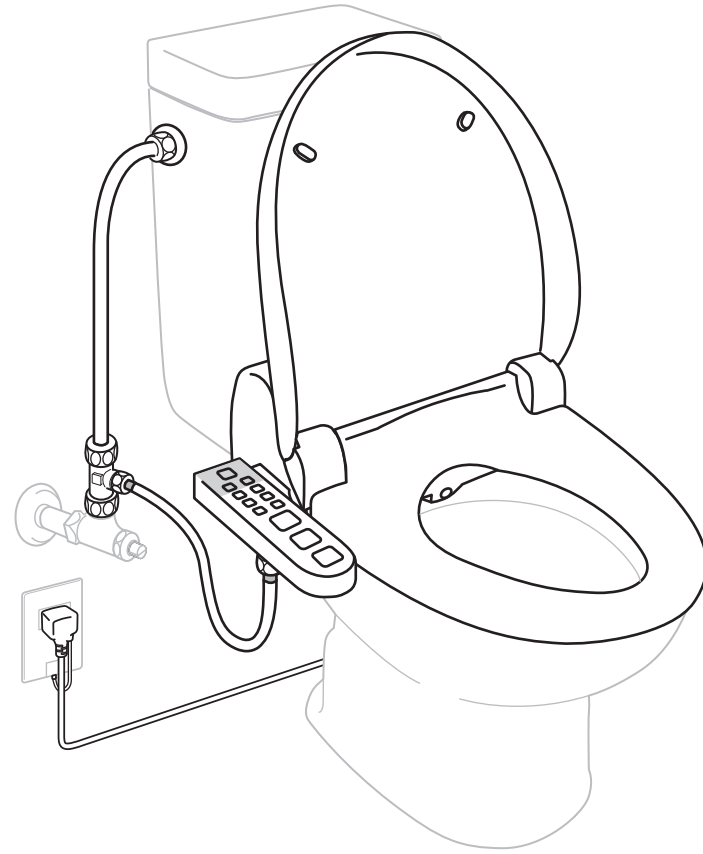


販売元に連絡してください。→裏表紙

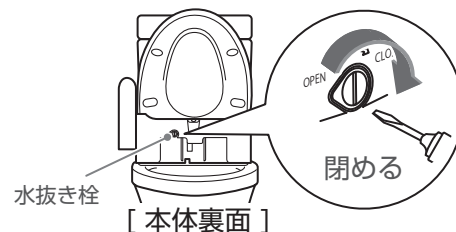
水抜き栓を緩めるときは
必ず止水栓を閉める
(水漏れの原因)



実行する




水抜き栓を緩め排水した後は、
必ず水抜き栓を閉める
(水漏れの原因)



凍結による破損を予防する
(配管や本体内部が破損して水漏れの原因)

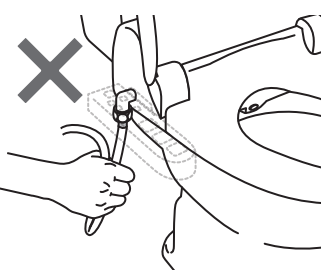
外気温が0℃以下になるときは、
水抜きや凍結しないよう
暖房してください。



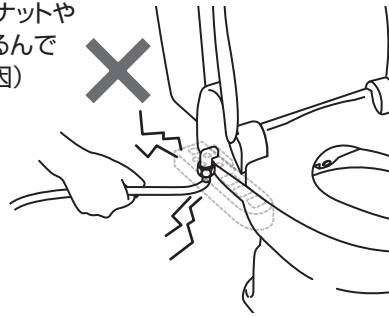
凍結予防の方法
→P.32

実行する

給水ホースを曲げたり、つぶしたり、
刃物などで傷つけたりしない
(水漏れの原因)



給水ホースを引っぱったり
無理な力を加えない
(分岐金具のナットや
接続部がゆるんで
水漏れの原因)



禁止


⚠ 注意

ケガなどのおそれ

便座・便ふたを持って
本体を持ち上げない
(ケガをする原因)



- 便ふたに寄りかからない
- 乗ったり強い衝撃を加えない
(転倒したり割れてケガをする原因)



操作部を手をつけて
座ったり立ち上がるなど
強い衝撃を加えない
(破損によりケガをする原因)



便座・便ふたを
勢いよく閉じない
(破損によりケガをする原因)



本体がガタついた状態で使用しない
(転倒してケガをする原因)

禁止

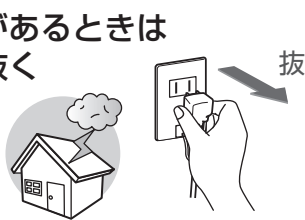
おしり・ビデ洗浄は長時間使用しない
長時間の洗浄に注意してください。
常在菌を洗い流してしまい、体内の菌バランスが崩
れる可能性があります。
局所の治療・医療行為を受けている方は、ご使用の前
に医師に相談してください。

長時間の洗浄防止のために、おしり・ビデ洗浄は
約2分で自動停止します。

禁止

感電のおそれ

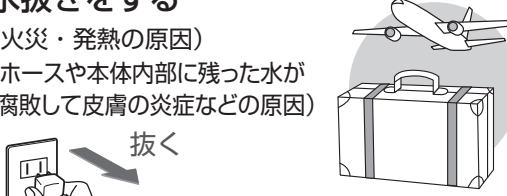
落雷のおそれがあるときは
電源プラグを抜く
(火災・感電の原因)



実行する

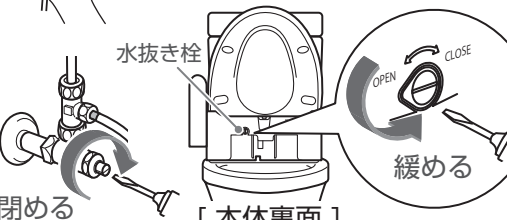
長期間使用しないときは…

長期間使用しないときは、
電源プラグを抜き、止水栓を閉め、
水抜きをする
(火災・発熱の原因)
(ホースや本体内部に残った水が
腐敗して皮膚の炎症などの原因)



実行する

水抜き栓



閉める [本体裏面]

緩める

水抜きの方法 →P.31

お掃除のときは…

お掃除のときは電源プラグを抜く
(火災・発熱の原因)



実行する

ノズルのお手入れの際には電源プラグを
差したままで行ってください。

お掃除のときは
酸性やアルカリ性の洗剤を使用しない
(便座本体や、内部の金属部分などを腐食させたり
故障の原因)



禁止

酸・アルカリ性
洗剤

研磨剤入り
洗剤

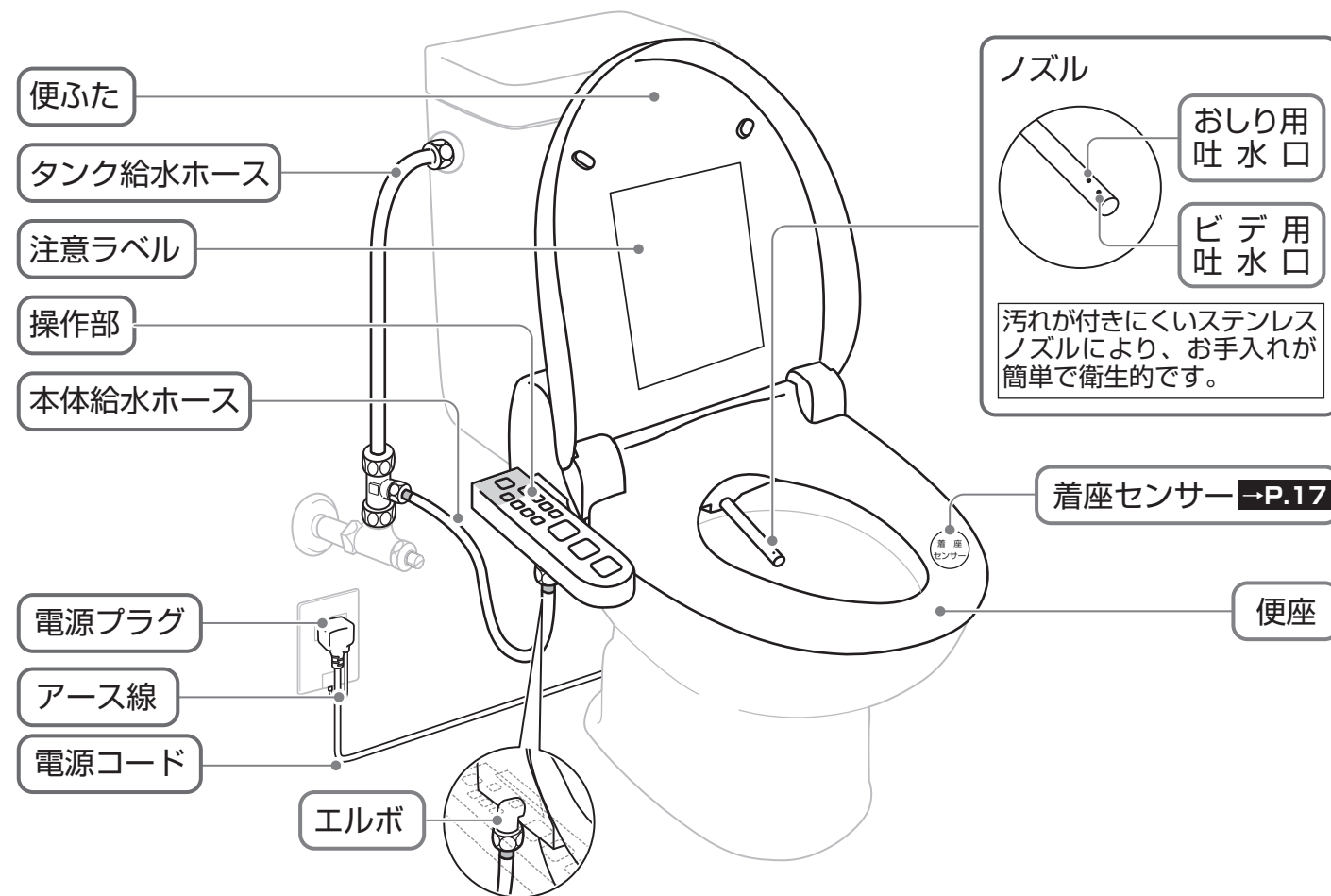
ベンジン
シンナー

業務用洗剤

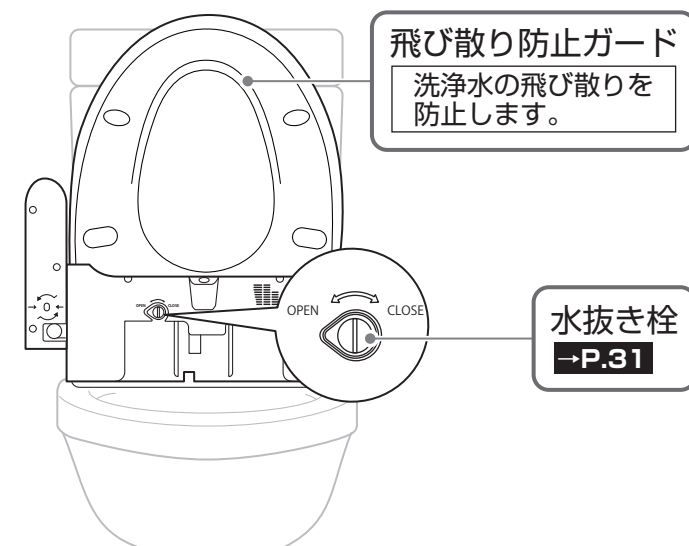
安全上のご注意

各部の名称

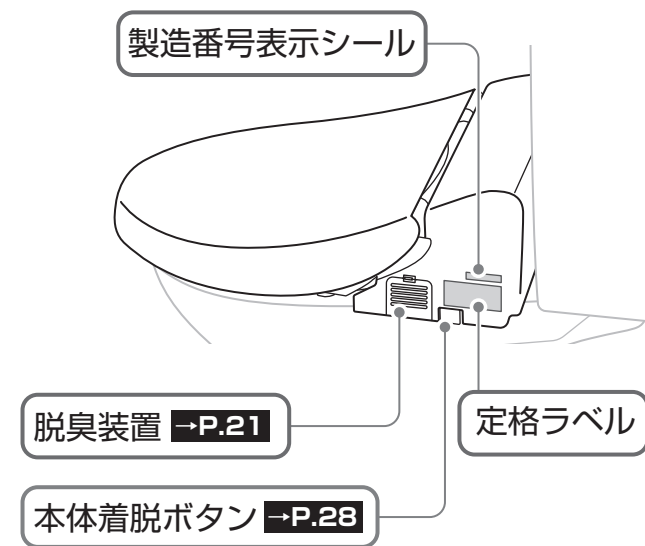
本体（漏電遮断機能付）



本体裏面

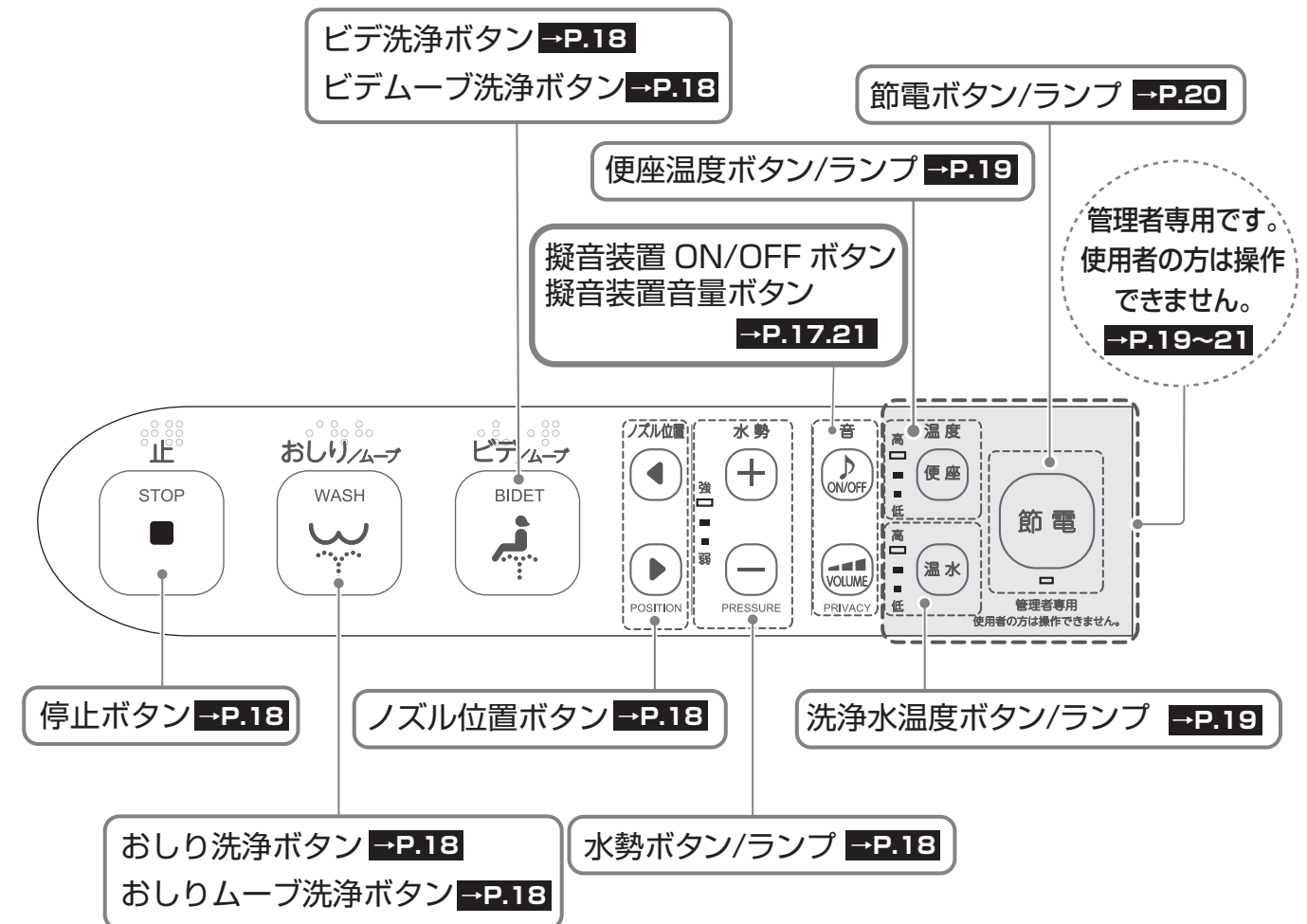


本体（座って左手側）



操作部

- 着座した状態で操作してください。→P.17
(着座センサーに肌が触れて感知している状態)
- 目の不自由な方にも快適にご使用いただけるよう点字を設けています。

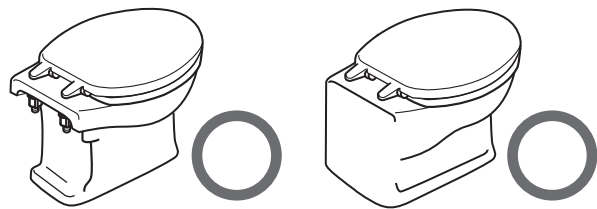


取付方法（施工説明書）

施工前の確認

取付方法（施工説明書）

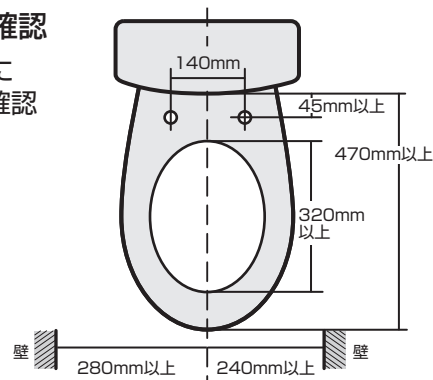
取付け可能な便器



※小型便器・特殊便器など一部の便器には取付けられない場合があります。

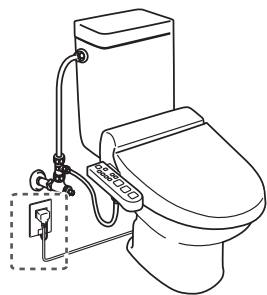
● 便器サイズの確認

※右図のサイズに適合するかご確認ください。



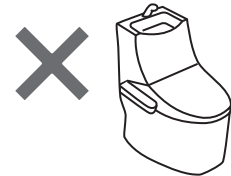
● コンセント位置の確認

※電源コードの長さは1.2mです。コンセントがこの長さに適した位置に設置してあるかご確認ください。



取り付けられない便器

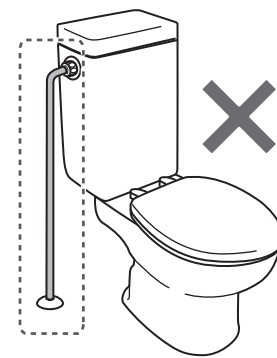
● 便座一体型便器



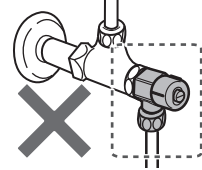
※便器の交換が必要です。

下記の場合は専門業者に工事を依頼してください

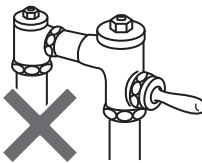
● 止水栓がない



● 下記タイプの止水栓



● フラッシュバルブ



安全上のご注意（施工）

 実行する	取付方法(施工説明書)に従って施工する →P.7~16 (水漏れ・火災・感電の原因) 同梱部品および指定の部品を使用し施工する (水漏れ・火災・感電の原因) 電気工事は内線規程に従って施工する (火災・感電の原因)	 水場使用禁止	バスルームや湿気が多い場所には設置しない (火災・感電の原因)
	 分解禁止		修理技術者以外の方が分解、修理をしない (感電・発火・異常作動によるケガの原因)
 禁止	車両や船舶などの移動体には設置しない (感電・ショートによる火災の原因)	 禁止	取り付けが完了し、止水栓を開けるまで電源プラグを差し込まない (故障の原因)
	日本の上水道以外では使用しない (故障・皮膚の炎症などの原因) 工業用水・井戸水など		

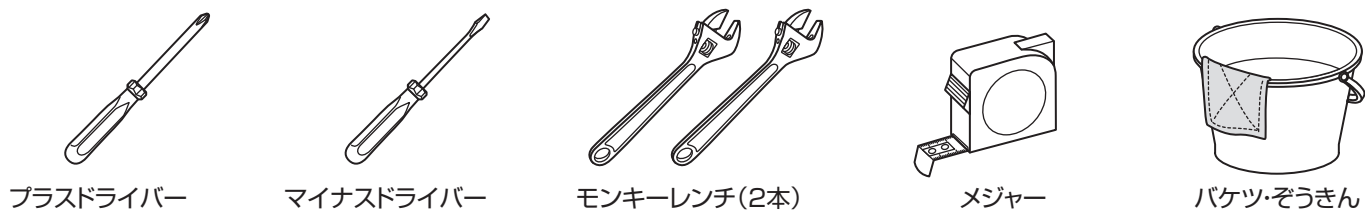
取付方法（施工説明書）

⚠ 施工前に、安全上のご注意 →P.1~4 を必ずお読みください。

引越しなどによる移設の際には専門業者に依頼されることをおすすめします。販売元に相談してください。

- 必ず同梱の部品を使用する
- 使用圧力は 0.07 ~ 0.75MPa です。
- 製品内に水が残っている場合がありますが故障ではありません。※出荷前の通水検査によるものです。
- 厳寒時は、本体内の残水が凍結している場合があります。暖かい部屋に放置し、解凍してから設置してください。

準備する工具



プラスドライバー

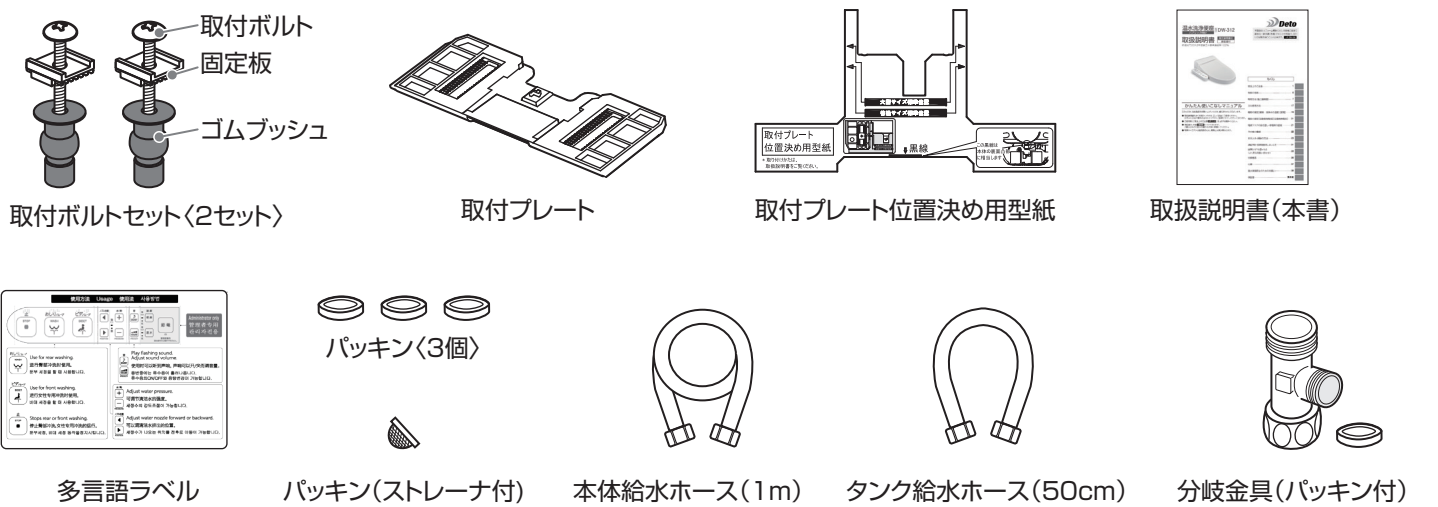
マイナスドライバー

モンキーレンチ(2本)

メジャー

バケツ・ぞうきん

同梱部品



取付ボルトセット(2セット)

取付プレート

取付プレート位置決め用型紙

取扱説明書(本書)

パッキン(3個)

多言語ラベル

パッキン(ストレーナ付)

本体給水ホース(1m)

タンク給水ホース(50cm)

分岐金具(パッキン付)

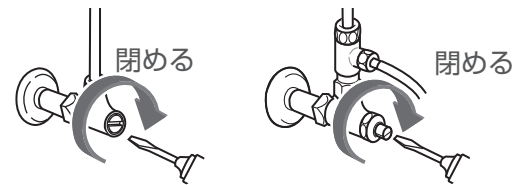
取付方法（施工説明書）

1 止水栓を閉める

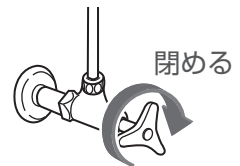
1 止水栓を閉める

〔例〕

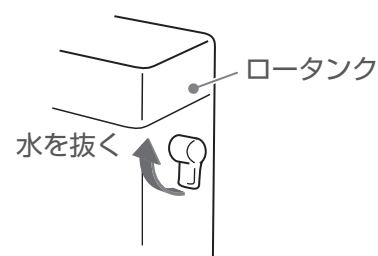
〈マイナス溝タイプ〉



〈ハンドルタイプ〉



※ロータンクの水を抜き、止水していることを確認してください。ロータンクに給水される場合は、止水栓を閉め直してください。

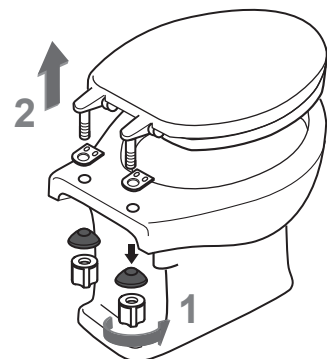


2 便座を取り外す

下のように、便座を取り外してください。

普通便座の場合

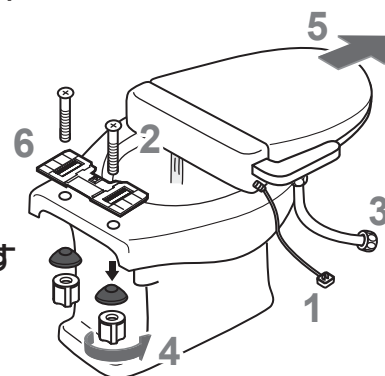
- 1 ナットを緩める
- 2 便座を取り外す



温水洗浄便座・暖房便座の場合

- 1 電源プラグを抜く
- 2 水抜きをする
- 3 本体給水ホースを取り外す
- 4 ナットを緩める
- 5 便座を取り外す
- 6 固定プレートを取り外す

※既設の温水洗浄便座・暖房便座の施工説明書に従い取り外してください。

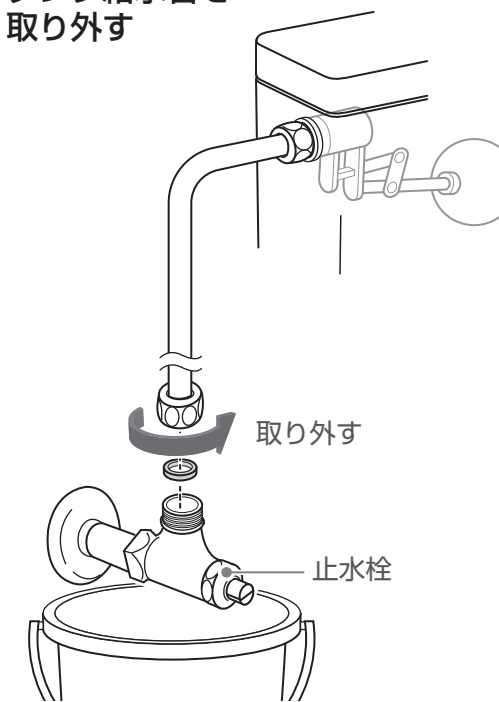


ナットがさびて緩まないときは
 ●市販のねじ緩め剤などで緩める
 ●取れないときは、金のかみでボルトを切断する

3 給水管・分岐金具を取り外す

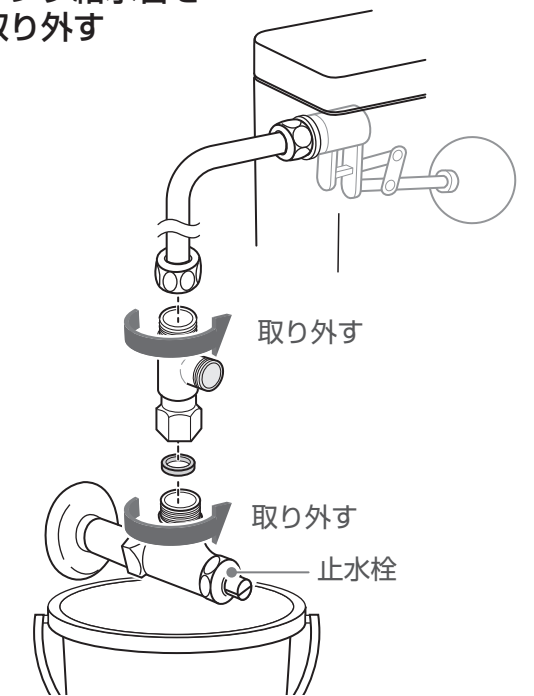
初めて温水洗浄便座を取り付ける場合

- 1 止水栓からタンク給水管を取り外す



既設の温水洗浄便座から取り替える場合

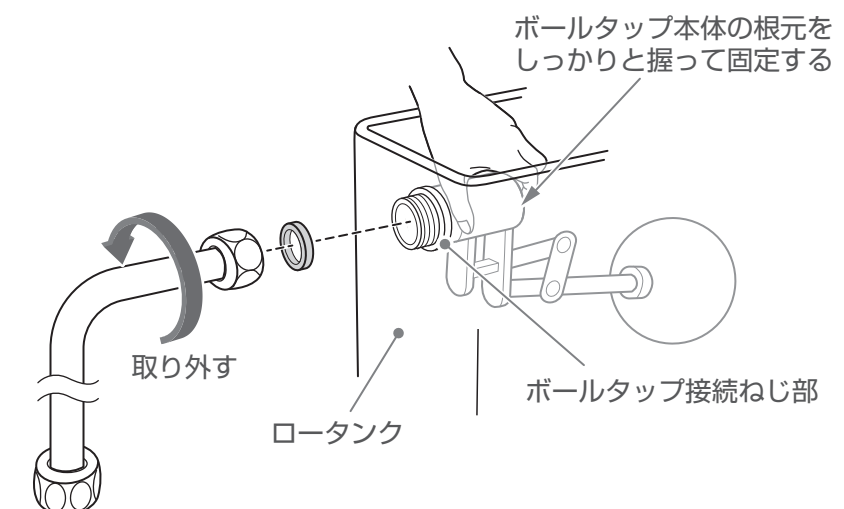
- 1 止水栓から分岐金具とタンク給水管を取り外す



給水管などに水が残っていることがありますので、止水栓の下にバケツなどの容器を置いてください。

- 2 ロータンクからタンク給水管を取り外す

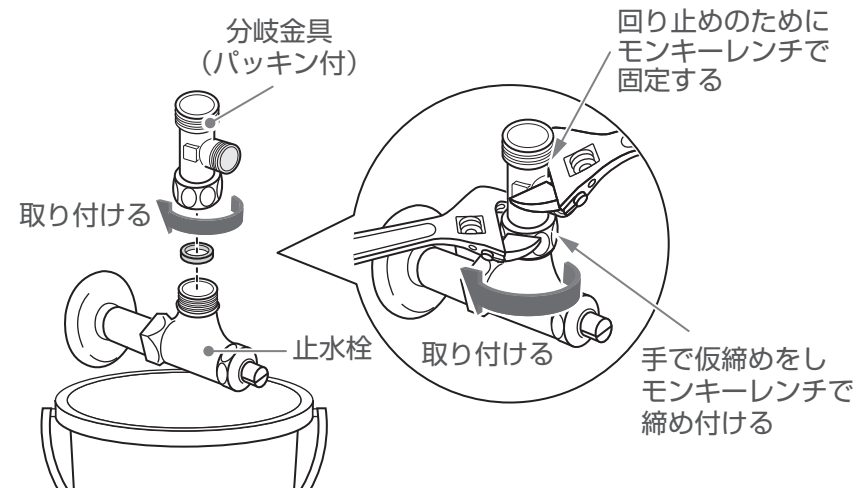
※ロータンクのフタを開け、ボールタップ接続ねじ部は回さないように、内部のボールタップ本体の根元をしっかりと握って行ってください。



取付方法（施工説明書）

4 分岐金具・タンク給水ホースを取り付ける

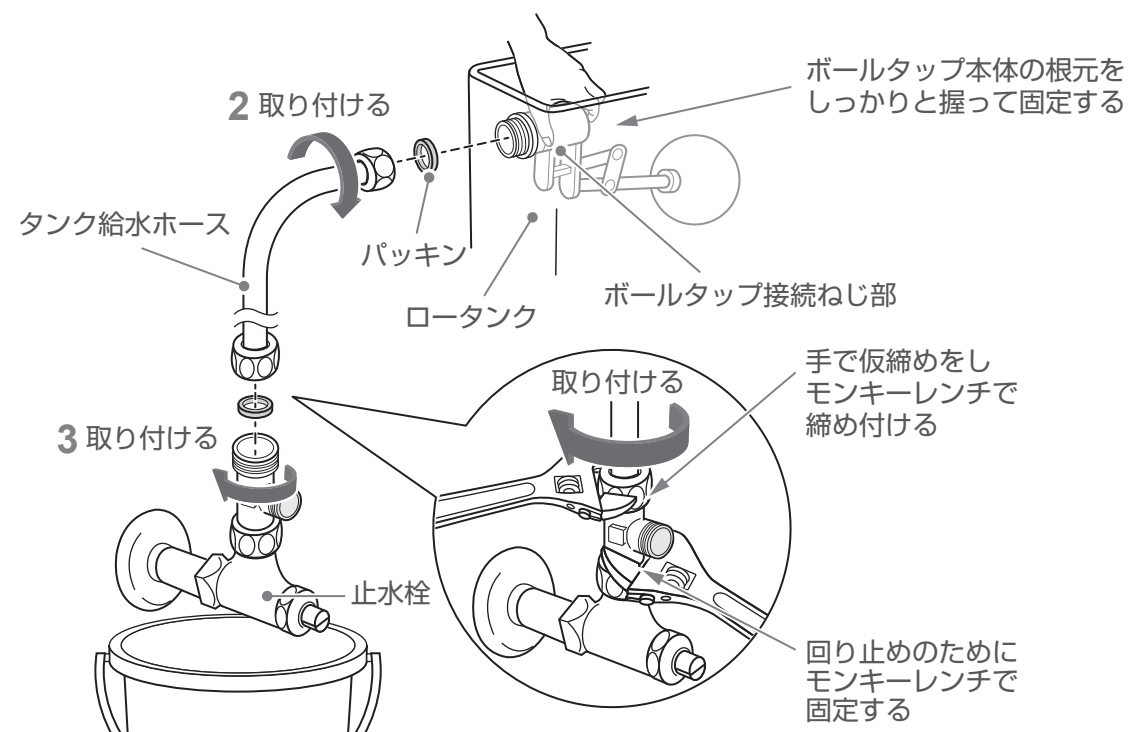
1 分岐金具を止水栓に取り付ける



2 タンク給水ホースをロータンクに取り付ける

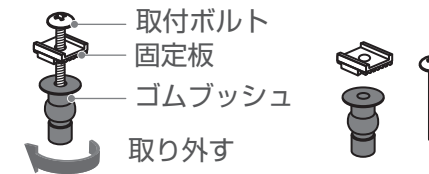
※ボールタップ接続ねじ部は回さないように、内部のボールタップ本体の根元をしっかりと握って行ってください。

3 タンク給水ホースを分岐金具に取り付ける

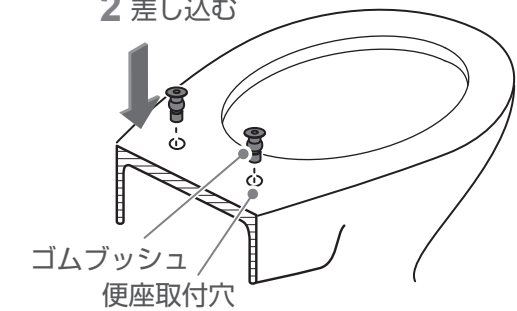


5 本体を取り付ける

1 取付ボルトから固定板・ゴムブッシュを取り外す

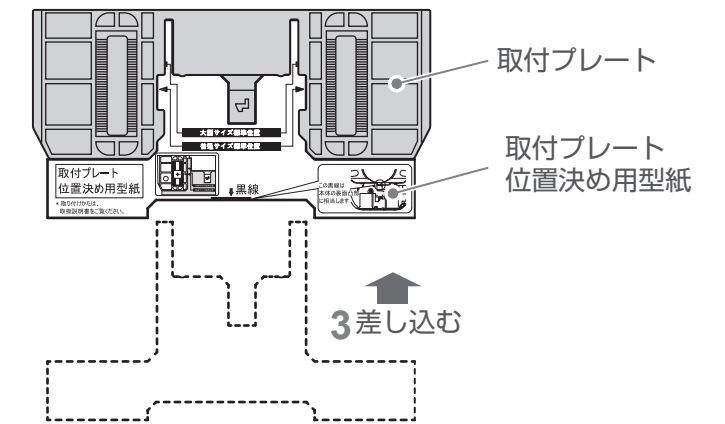


2 差し込む



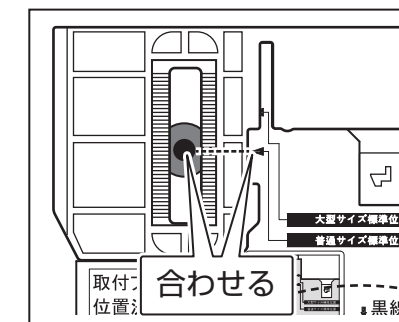
2 便座取付穴にゴムブッシュを取り付ける

3 取付プレート位置決め用型紙を取付プレートに差し込む

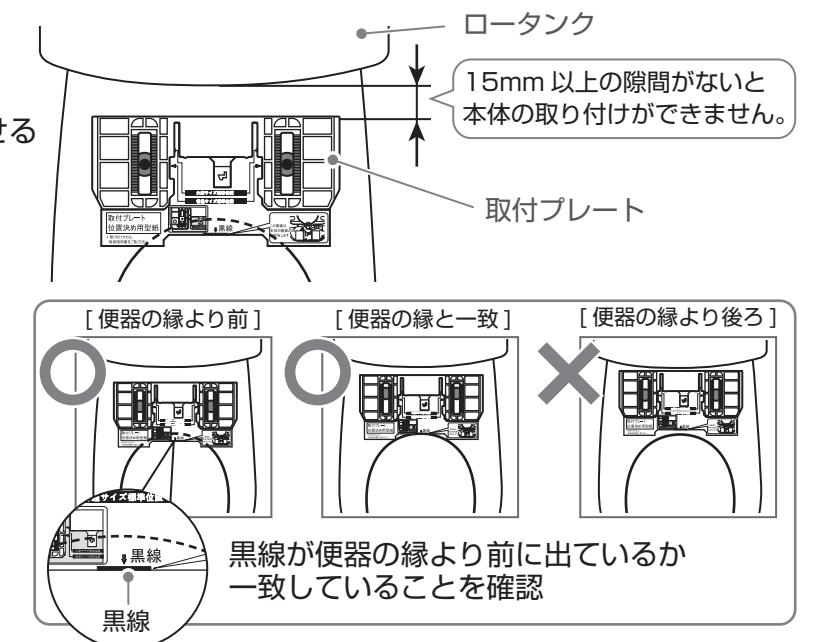


4 取り付け位置を決める

取付プレート位置決め用型紙の普通サイズ標準位置とゴムブッシュの穴の中心を合わせる



※大型サイズの便器の場合は型紙の大型サイズ標準位置に合わせる

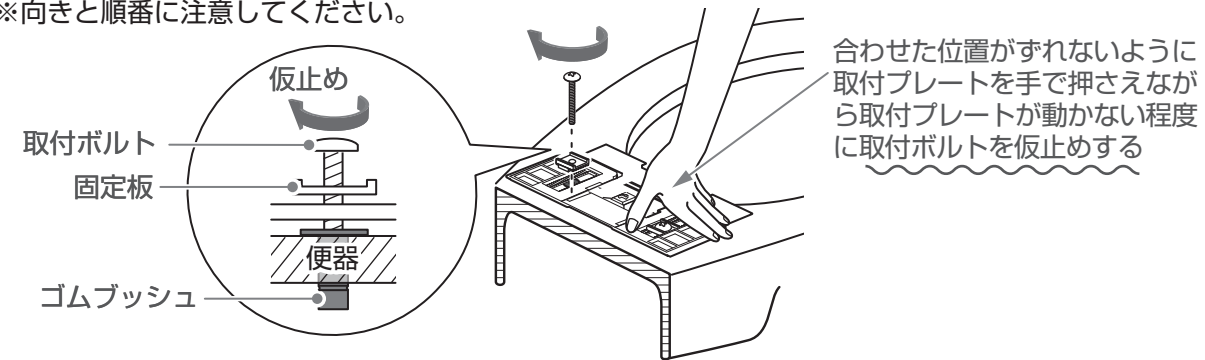


次のページへつづく →P.13

取付方法（施工説明書）

5 本体を取り付ける（つづき）

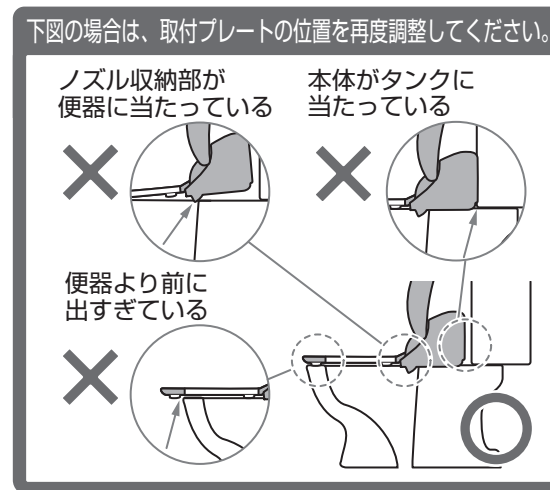
5 取付プレート便器に仮止めする
※向きと順番に注意してください。



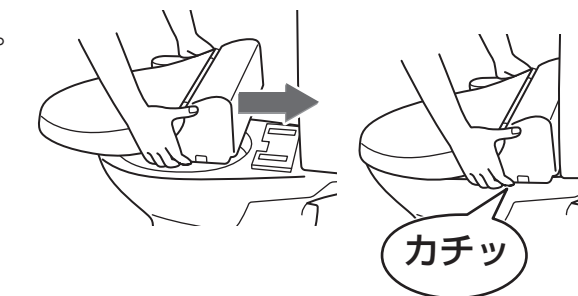
6 取付プレート位置決め用型紙を外す

7 本体をロータンクの方向に「カチッ」と音がするまで押し込んで取り付ける

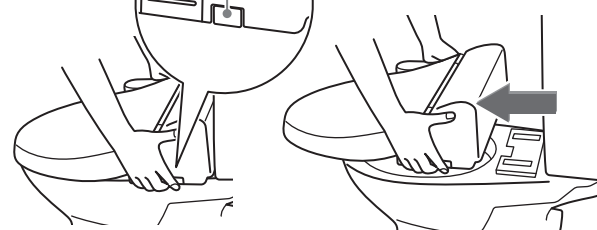
※電源コードを挟まないように注意してください。



7 押し込む



8 押したまま 手前に引いて取り外す



8 本体着脱ボタンを押したまま 本体を手前に引いて取り外す

9 取付ボルトをしっかり締め付ける

※片手で回らなくなるまでしっかり締め付けてください。

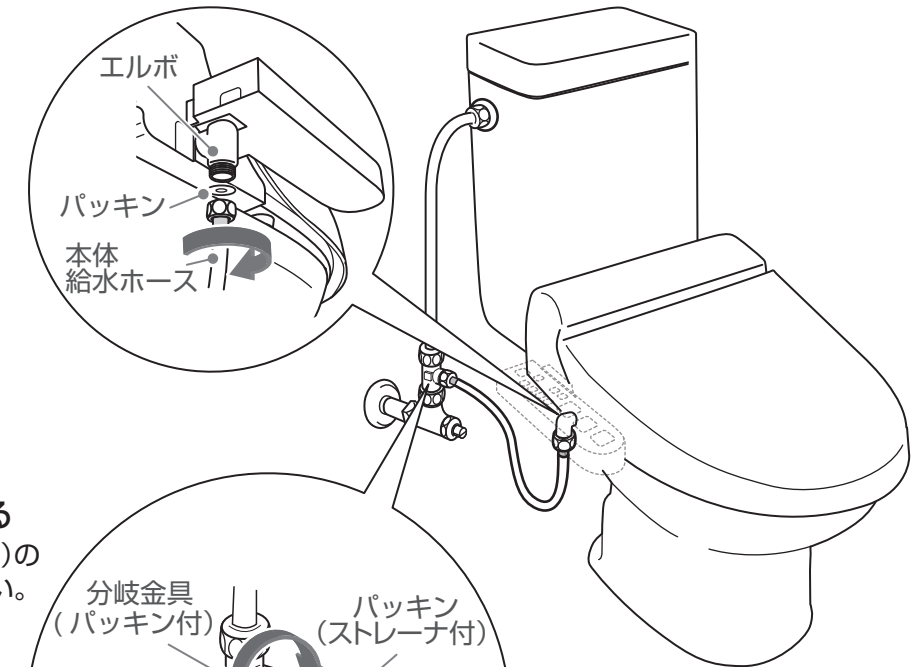
10 本体をロータンクの方向に「カチッ」と音がするまで押し込んで取り付ける

※電源コードを挟まないように注意してください。
※本体が便器から抜けたりしないか確認してください。

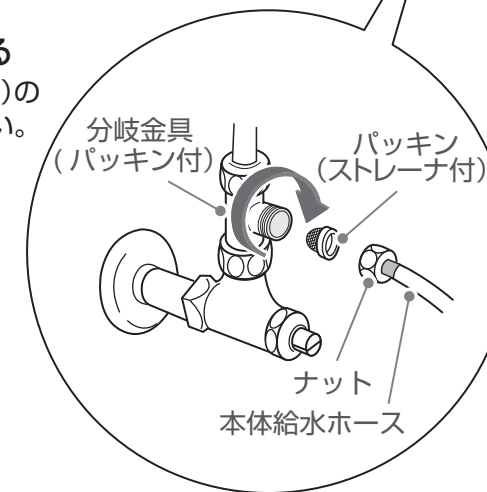


6 本体給水ホースを取り付ける

1 本体給水ホースをエルボに取り付ける

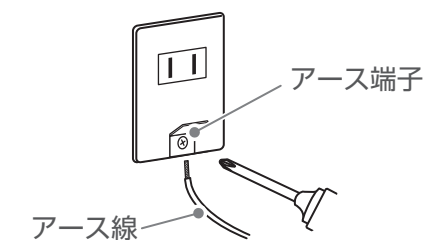


2 本体給水ホースを分岐金具に取り付ける
※パッキン(ストレーナ付)の向きに注意してください。

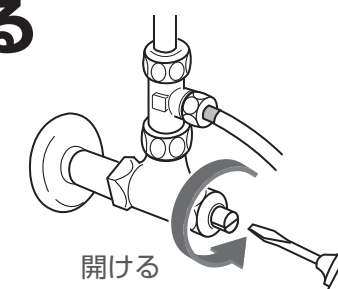


7 アース線の接続

※アース端子がない場合は、電気工事に相談してください。



8 止水栓を開ける

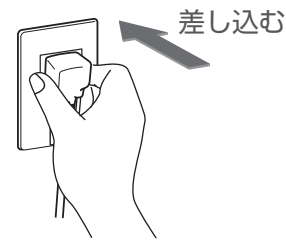


取付方法（施工説明書）

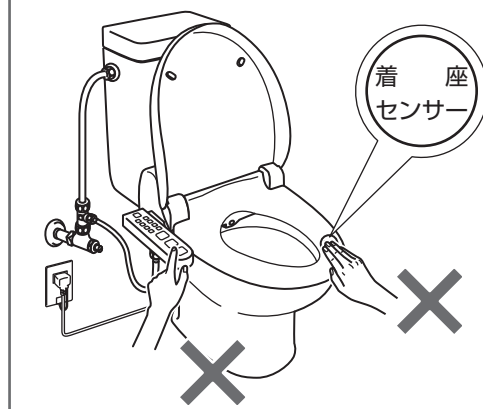
9 電源を入れる（自動給水）

電源プラグを差し込む

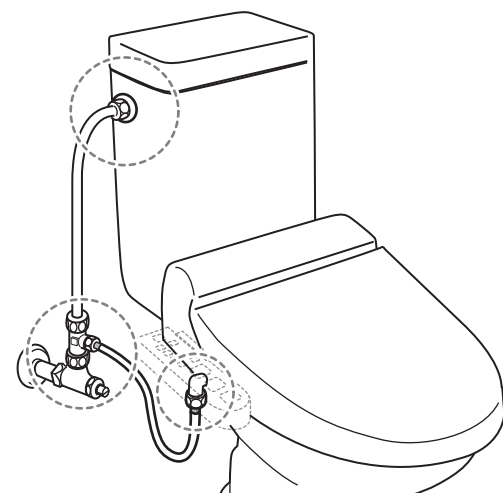
※「ピッピッピッ」と鳴り続け、便座本体への給水が始まります。
「ピー」と鳴り、給水が終わります。



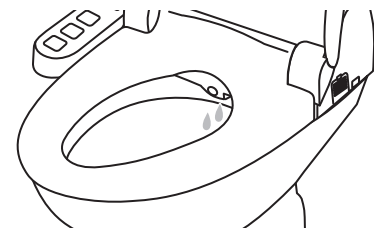
給水が終わるまで着座センサーや操作部に触れないでください。



10 水漏れの確認



- 水漏れがある場合は、再施工を行ってください。
- ノズル出口付近から漏れる水滴は温水タンク内の蒸気圧またはノズル内の残水によるもので故障ではありません。



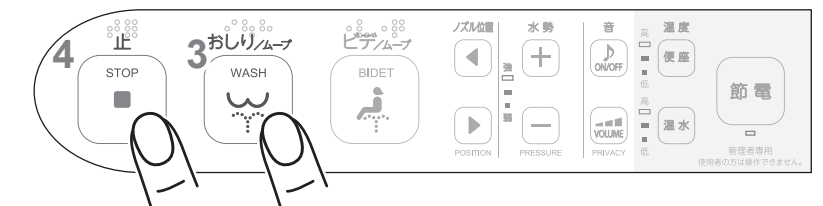
11 試運転

自動給水完了後、7分程度経ってから試運転を行ってください。

1 梱包用ビニールを便器と便座の間に挟む

2 着座センサーに手を触れる便座が温かいことを確認する
自動脱臭が始まるか確認する →P.21
※小さなモーター音がします。

3 着座センサーに手を触れながら「おしりノズル WASH」を押す
● 洗浄水が出ることを確認する
● 梱包用ビニールの上から手を当て洗浄水が温かいことを確認する



4 止 (STOP) を押し、梱包用ビニールを外す

セルフクリーニング機能により、おしり・ビデ洗浄前と停止後に水滴が落ちますが異常ではありません。

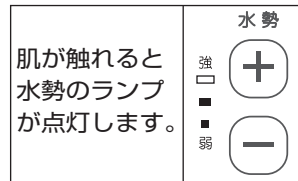
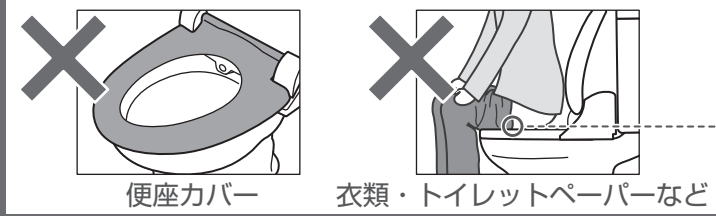
主な使用方法 洗浄する

1.座る

座ると、おしり洗浄・ビデ洗浄の操作ができます。
(着座センサーに肌が触れている状態)

※使用中に着座センサーから肌が離れると操作できません。

便座カバーがついていたり、身体と着座センサーの間に衣類やトイレットペーパーなどが挟まっていると感知しません。



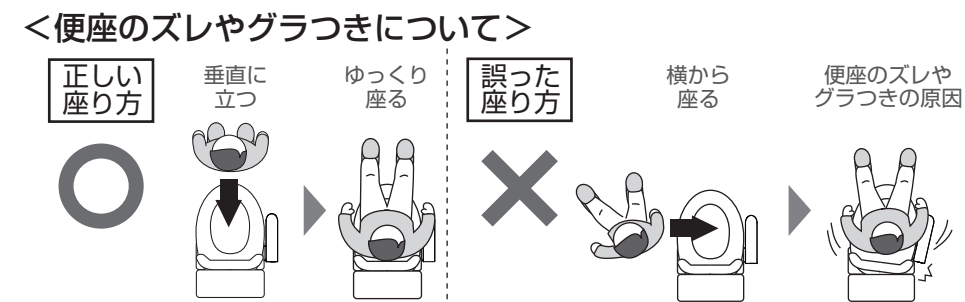
座ると自動で擬音(流水音)が流れます。
(節水や音消しのため) ※自動設定の場合 →P.21

■ 擬音(流水音)のON/OFF
ボタンを押すと、流水音のON/OFFができます。約20秒で停止します。

座ると自動で脱臭します。 ※約20分で停止します。
●脱臭が始まると脱臭ファンが動く音がします。 →P.21

■ 擬音(流水音)の音量を変える
作動中にボタンを押すごとに、音量が変わります。
●「小」→「中」→「大」の3段階です。

<着座時のきしみ音について>
着座時のきしみ音は、便器の成形段階でできる若干の歪みなどが原因で、便座と便器の間にわずかな隙間ができて発生することがあります。異常ではありません。



2.洗浄する

おしり/ムーブ



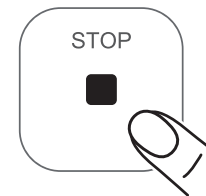
ボタンを押すと
おしり洗浄を
始めます。

ビデ/ムーブ

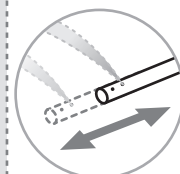


ボタンを押すと
ビデ洗浄を
始めます。

止



ボタンを押すと
おしり・ビデ洗浄を
停止します。



ノズルが前後に動き、
広範囲を洗浄

■ 広範囲を洗浄する【ムーブ洗浄】
洗浄中にボタンを押すと、ムーブ洗浄になります。もう一度押すと戻ります。

おしり洗浄
↑↓
おしりムーブ洗浄

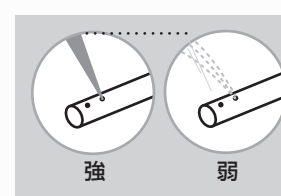
ビデ洗浄
↑↓
ビデムーブ洗浄

約2分後、おしり・ビデ洗浄が自動で停止します。
(長時間洗浄防止のため) →P.4

洗浄前と停止後に
ノズルを自動で
洗浄します。 →P.22

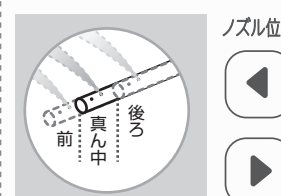


■ 洗浄の強さを調節する【水勢】



着座中に **+** または **-** を押すごとに、洗浄の強さが変わります。
●「強」「中」「弱」の3段階です。

■ 洗浄水の出る位置を調節する【ノズル位置】



おしりまたはビデ洗浄中に **◀** または **▶** を押すと、ノズルの位置が変わります。
●「前」「真ん中」「後ろ」の3段階です。

4.退室



立ち上がると約20秒後に擬音(流水音)が止まります。 ※自動設定の場合 →P.21

立ち上がると約1分後に脱臭が停止します。 →P.21

管理者専用です。
使用者の方は操作
できません。 →P.19~21

立ち上がると
・擬音(流水音)の音量「中」
・水勢(洗浄の強さ)「中」
・ノズル位置「真ん中」
に戻ります。

基本操作

主な使用方法

自動機能

調節

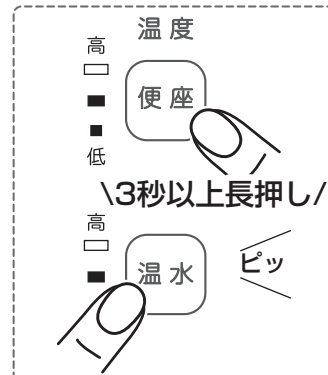
主な使用方法

機能の設定【便座／洗浄水の温度】【節電】 管理者専用

※操作中は着座センサーに触れないでください。座った状態では操作できません。

【便座/洗浄水の温度】【節電】の操作

【便座/洗浄水の温度】【節電】は、使用者の方が設定を変えられないようにロックされています。



便座 + 温水 を同時に3秒以上「ピッ」というまで長押しします。
【便座/洗浄水の温度】【節電】の操作のロックが外れます。

【便座/洗浄水の温度】【節電】の設定を行ってください。

止 を押すと設定が確定され、操作がロックされます。

注意 1分間ボタンをおさないと、設定が取り消しされて、操作がロックされます。



機能の設定【便座／洗浄水の温度】【節電】

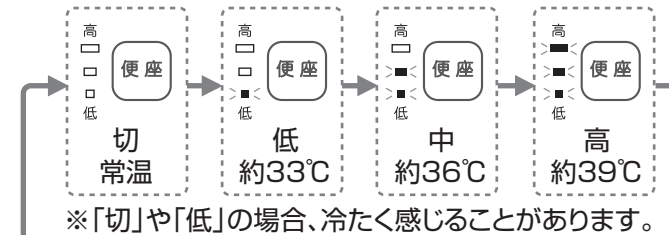
便座/洗浄水の温度を設定する 温度設定



便座と洗浄水の温度を設定できます。

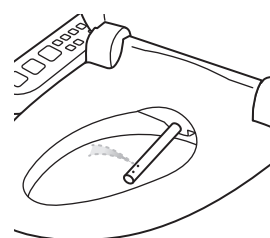
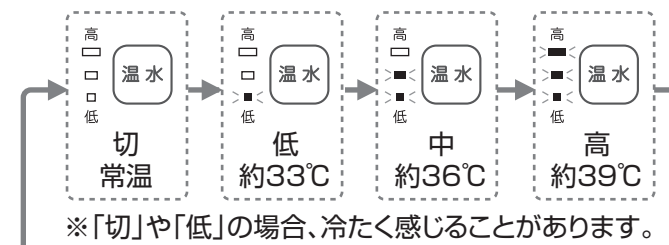
便座温度

便座 を押すごとに、便座の温度が変わります。
※ランプ表示が切り替わります。



洗浄水温度

温水 を押すごとに、洗浄水の温度が変わります。
※ランプ表示が切り替わります。



節電をする 節電設定

節電

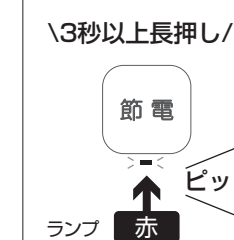
節電のため、便座と洗浄水の温度を使用しているときと、使用していないときを、設定できます。

節電

を押すと、標準モードと節電モードに切り替わります。
※ランプ表示が切り替わります。

	標準モード	節電モード
操作部	節電 ランプ 消灯	節電 ランプ 緑
便座温度・洗浄水温度	座っていないとき 温度 便座 約30℃ 「節電モード」は、冷たく感じる場合があります。	座っているとき 温度 温水 設定した温度 ※「節電モード」または「8時間タイマー節電モード」解除後「設定温度」になるまでは、最長7分ほどかかる場合があります。(室温などにより異なります。)

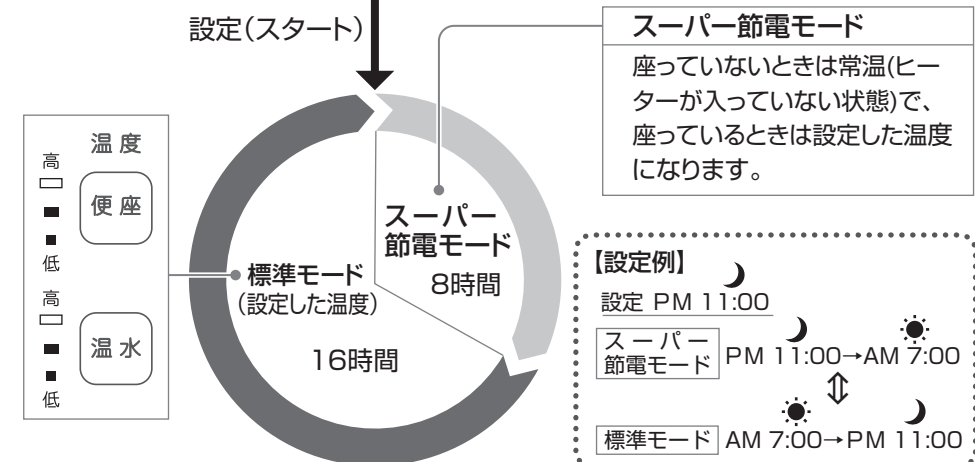
8時間タイマー節電モード



を3秒以上「ピッ」と音がするまで長押しして「8時間タイマー節電モード」に設定します。

設定後、8時間「スーパー節電モード」⇔ 16時間「標準モード」を繰り返します。

8時間タイマー節電解除 を押すと「標準モード」になります。



機能の設定【便座／洗浄水の温度】【節電】

機能の設定【自動擬音機能】【自動脱臭機能】 管理者専用

自動擬音機能と音の種類の設定をする

擬音装置設定

自動擬音機能の設定

擬音は初期設定で、着座すると自動で流れるようになっています。自動と手動を変更できます。

STOP + VOLUME PRIVACY を同時に3秒以上長押しすると「ピッ」と音がして、自動と手動が切り替わります。

音の種類を変える ※初期設定は「流水音」です。

STOP + 音 ON/OFF を同時に3秒以上長押しすごとに、音の種類が切り替わります。

「ピッ」と音がしたら 音 ON/OFF を押して音が替わったことを確認してください。

- 「流水音」→「せせらぎ音+鳥のさえずり」→「せせらぎ音+虫の音」の3種類です。

音



PRIVACY

自動脱臭機能の設定をする

自動脱臭機能設定

自動脱臭機能の設定

※初期設定は自動で脱臭します。

STOP + 節電 を同時に3秒以上長押しすると「ピッ」と音がして、ON/OFFが切り替わります。



その他の機能

セルフクリーニング機能

いつも清潔に保つために、おしり・ビデ洗浄前と停止後にノズルを自動で洗浄します。

- この水は身体に触れません。
- セルフクリーニング機能により、おしり・ビデ洗浄前と停止後に水滴が落ちますが異常ではありません。



漏電遮断機能

安全のため、漏電を検知すると自動的に電源が切れます。

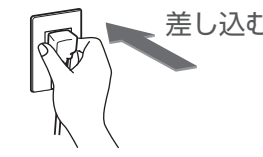
[漏電検知時]

プラグを抜き差しして復旧してください。



① 電源プラグを抜く

② しばらく時間を置いて再度電源プラグを差し込む

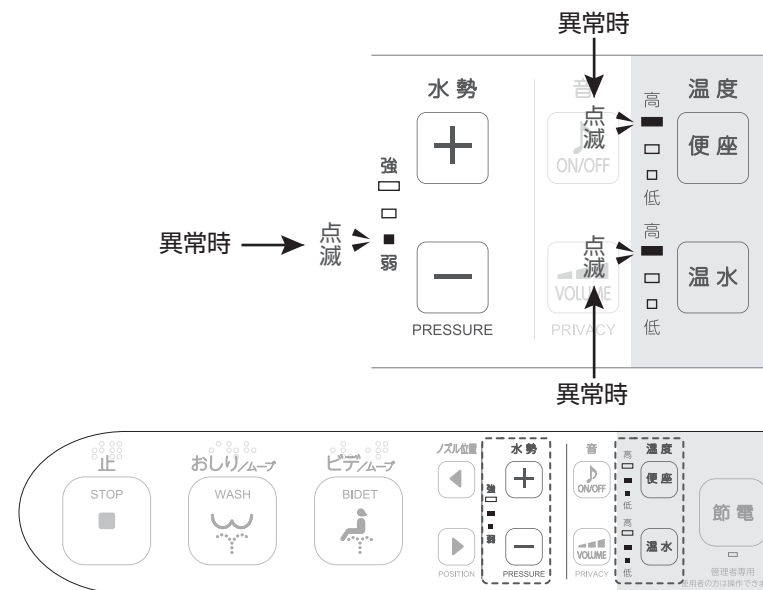


復旧しない場合は、発売元に連絡してください。→裏表紙

[異常時ランプ表示(例)]

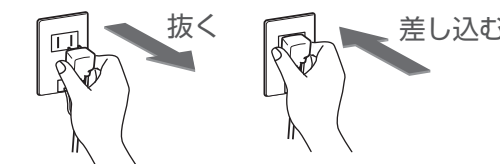
自己診断機能

操作部の「水勢・便座・温水」のランプが点滅している場合は、製品に異常が発生しています



電源プラグを抜き差しすると、復旧する場合があります。

① 電源プラグを抜き、再度差し込む



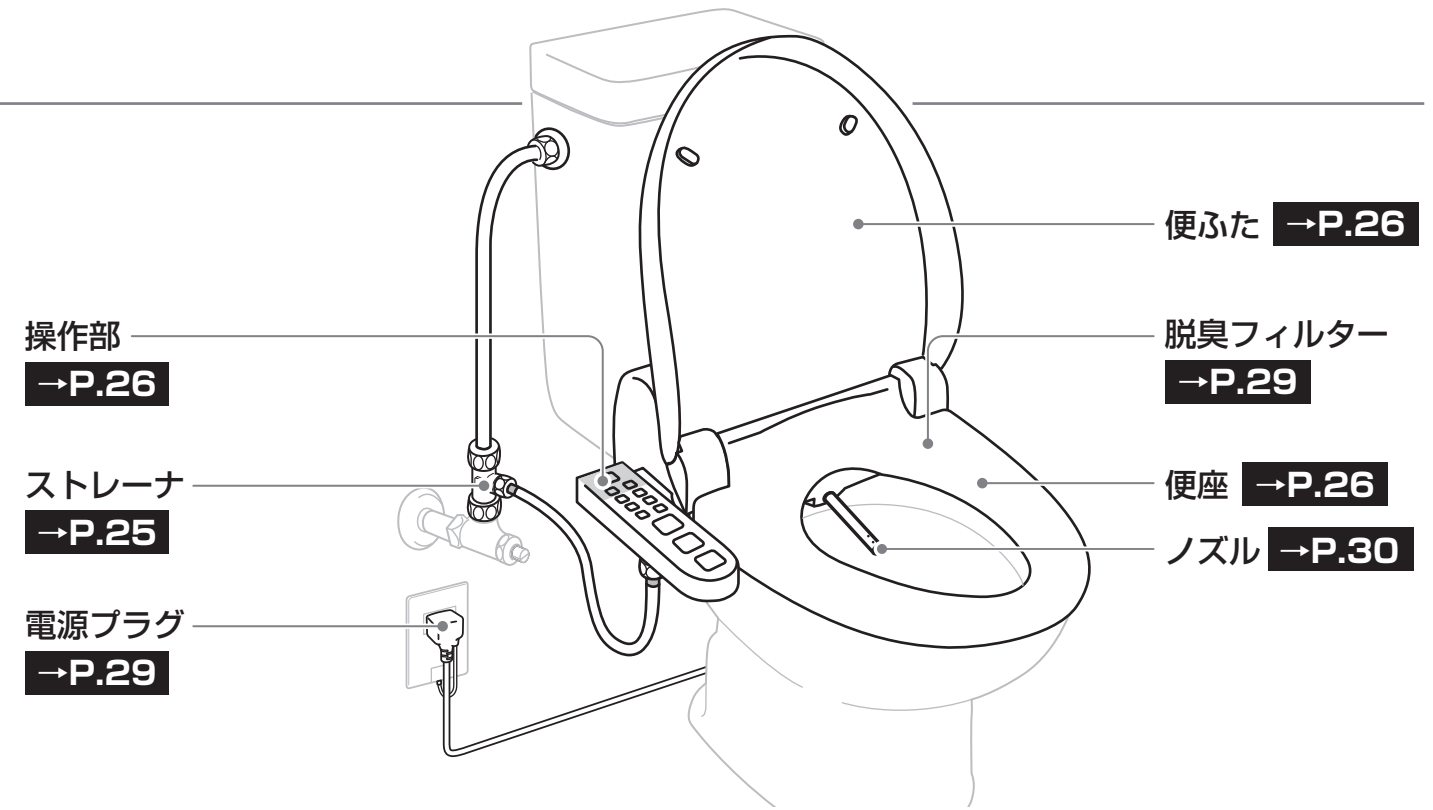
② 点滅が消えたことを確認する

点滅が続く場合は、点滅位置をご確認いただき販売元に連絡してください。

お手入れ・掃除の方法

快適に使用するために、日頃から定期的なお手入れをしてください。

気になる汚れ・症状	お手入れ・掃除する箇所	ページ
おしり・ビデ洗浄の勢いが弱くなった	ストレーナ	25
	ノズル	30
便ふた、便座、便器の隙間の汚れが気になる	便ふた、便座、便器の隙間	27.28
ニオイが取れにくい・異臭がする	脱臭フィルター	29
洗浄水が斜めに出るようになった	ノズル	30



お手入れのときに ご注意いただくこと

お手入れ・掃除の方法

安全のため、電源プラグを抜いてください

お手入れの際や本体を立てる時は必ず電源プラグを抜く
(感電・火災・誤作動による故障の原因)

実行する

[本体裏面]

- ノズルのお手入れの際には、電源プラグは差したままで行ってください。
- お手入れ完了後は、電源プラグの差し忘れに注意してください。(電源プラグを差すと初期設定の状態に戻ります。→P.21)

禁止

電源プラグの抜き差しは、濡れた手でしない
(感電の原因)

便座本体や電源プラグに水や洗剤をかけない
(感電・ショートによる火災の原因)

禁止

隙間のお手入れの際には針金などの金属を使用しない
(感電・ショートによる火災の原因)

禁止

[本体裏面]

便座本体内部や、便器との隙間などに水や洗剤が残らないように注意する
(プラスチックを傷めたり、故障の原因)

実行する

お掃除のときは酸性やアルカリ性の洗剤を使用しない
(便座本体や、内部の金属部分などを腐食させたり故障の原因)

禁止

酸・アルカリ性洗剤 研磨剤入り洗剤 ベンジンシンナー 業務用洗剤

市販のトイレ用そうじシートの中には適さない商品もあります。

プラスチック部品には、トイレットペーパーや乾いた布などを使用しない
(キズつきの原因)

禁止

トイレットペーパー 乾いた布

便器のお手入れにつきまして

禁止

- お手入れ中は、便座・便ふたは閉じない
- つけ置き洗いはしない

● 便器のお手入れの際に使用される洗剤は、便座本体にかからないように注意してください。

● 便器に残っている洗剤から出る揮発性ガスにより、便座本体内の金属部分を傷めることがあります。

[断面図]

揮発性ガス

短時間(3分程度)で手早くお手入れをしてください。

お手入れ・掃除の方法

お手入れ・掃除の方法

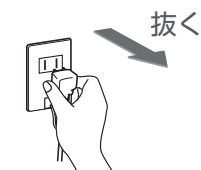
ストレーナのお手入れ おしり・ビデ洗浄の勢いが弱くなったら

ストレーナにゴミなどが付着して詰まっていると洗浄の勢いが弱くなります。

ストレーナは本体側と分岐金具側の2か所についています。

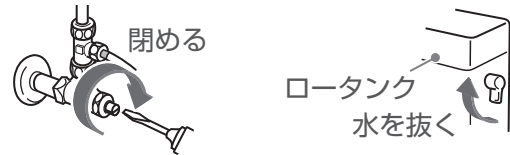


1 電源プラグを抜く



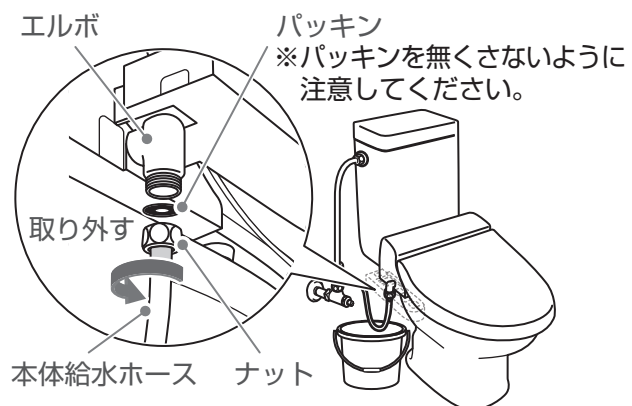
2 止水栓を閉める

※ロータンクの水を抜き止水していることを確認してください。ロータンクに給水される場合は、止水栓を閉め直してください。

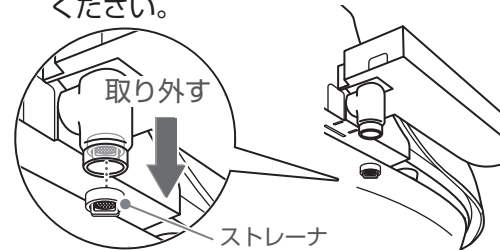


3 本体側のストレーナを取り外す

① 本体側のナットを回し、本体給水ホースを取り外す
※水が残っていることがありますので、エルボの下にバケツなどの容器を置いてください。

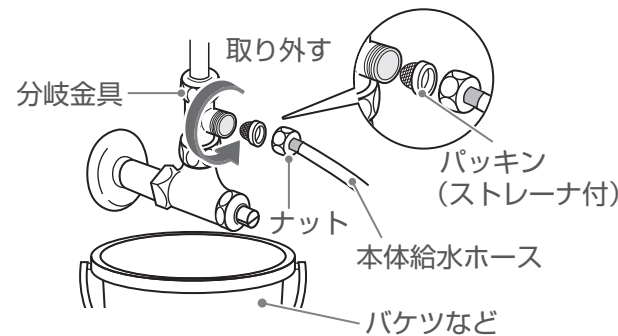


② エルボからストレーナを取り外す
※ エルボの中にストレーナが入っています。取り外しにくい場合はペンチなどで取り外してください。

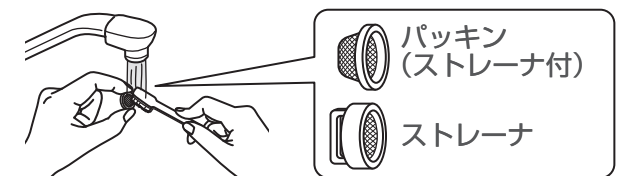


4 分岐金具側のナットを回し、本体給水ホースとストレーナを取り外す

※水が残っていることがありますので、止水栓の下にバケツなどの容器を置いてください。

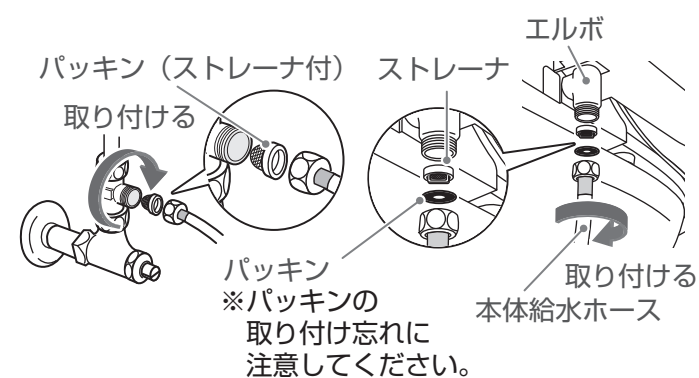


5 水洗いしながら歯ブラシなどで掃除をする



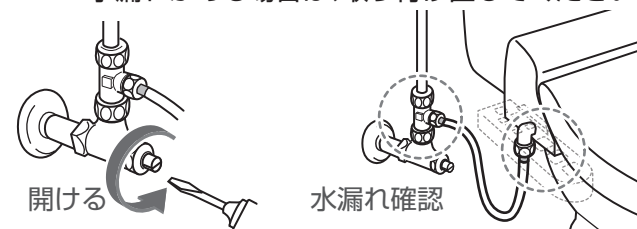
6 ストレーナーと本体給水ホースを取り付ける

※パッキン(ストレーナ付)、ストレーナの取り付け位置や向きに注意してください。



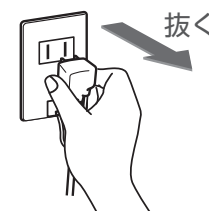
7 止水栓を開け、水漏れを確認する

※水漏れがある場合は、取り付け直してください。



本体(表面)・操作部のお手入れ 日常のお手入れ

1 電源プラグを抜く



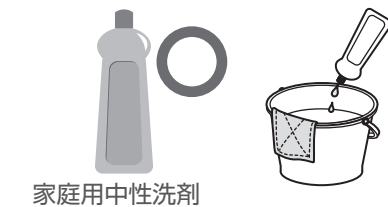
2 柔らかい布を水で濡らし、よく絞って汚れを拭き取る

水拭きは汚れの原因となる静電気を防ぎます。



[汚れがひどいとき]

家庭用中性洗剤を薄めて柔らかい布にふくませて汚れを拭き取り、水拭きしてください。



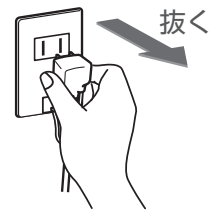
 禁止	操作部に手をつけて立ち上がるなど強い衝撃を加えない <small>(破損によりケガをする原因)</small>
	電源プラグのお手入れには濡れた布を使用しない <small>(感電の原因)</small>

お手入れ・掃除の方法

便ふたと便座の隙間のお手入れ 週1回のお手入れ

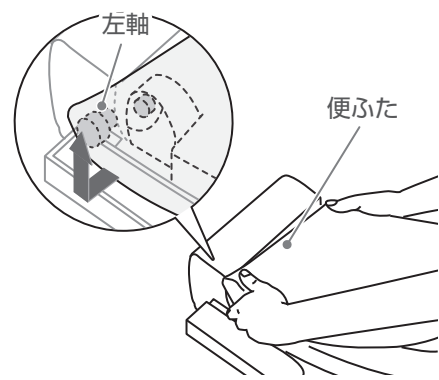
便ふたを取り外してお手入れができます。

1 電源プラグを抜く

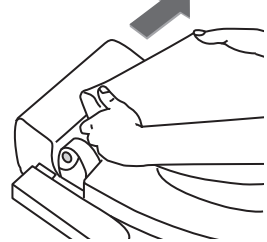


2 便ふたを取り外す

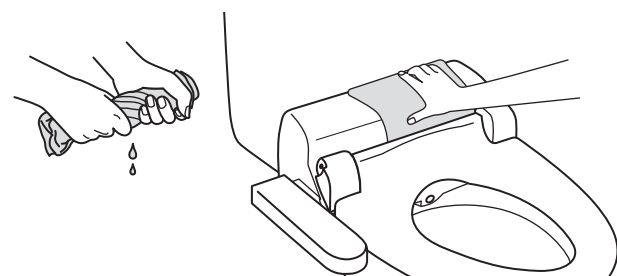
① 左側を広げて左軸を外す
※便ふたが少し開いた状態で広げると簡単に外せます。



② 右側へ外す

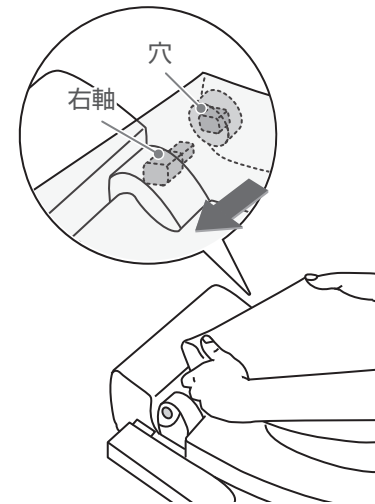


3 柔らかい布を水で濡らし、よく絞って汚れを拭き取る

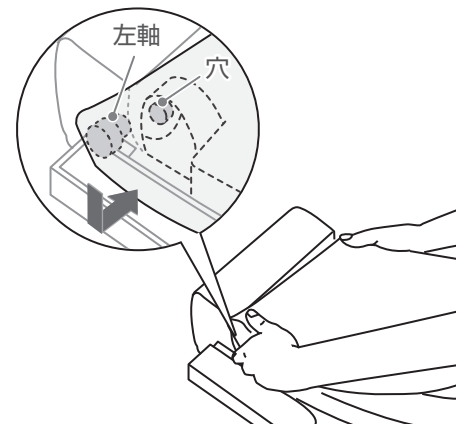


4 便ふたを取り付ける

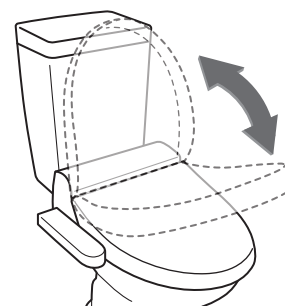
① 右軸を穴に差し込む



② 左側を広げ左軸を穴に差し込む



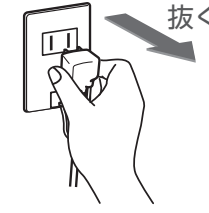
③ 開閉がスムーズか確認する



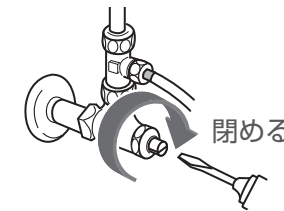
本体(裏面)のお手入れ 週1回のお手入れ

本体を取り外して便器との隙間や本体裏面をお手入れできます。

1 電源プラグを抜く



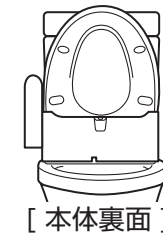
2 止水栓を閉める



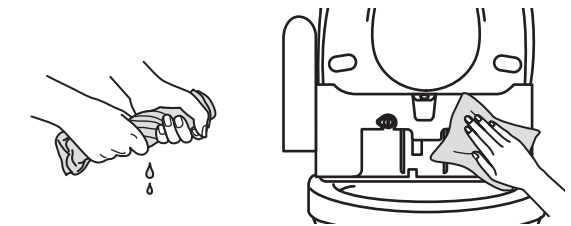
3 本体着脱ボタンを押したまま本体を手前に引いて取り外す ※給水ホースなどに無理な力を加えないように注意してください。



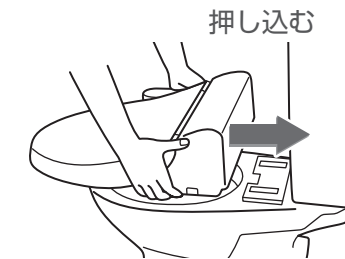
4 本体裏面が手前になるようにして立てる



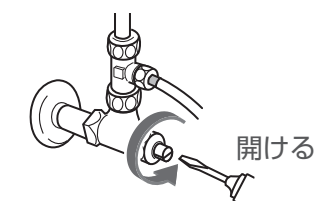
5 柔らかい布を水で濡らし、よく絞って汚れを拭き取る



6 本体を取り付ける



7 止水栓を開ける



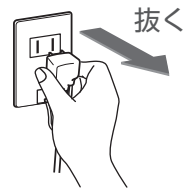
お手入れ・掃除の方法

電源プラグのお手入れ

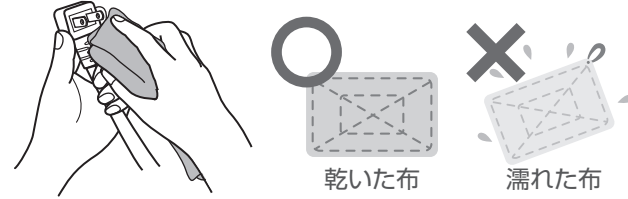
月1回のお手入れ

電源プラグにたまったほこりと湿気により、微小電流が流れ、そのまま使用し続けるとショートし発火することがあります。※トラッキング現象

1 電源プラグを抜く



2 乾いた布で電源プラグを掃除する

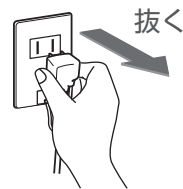


脱臭フィルターのお手入れ

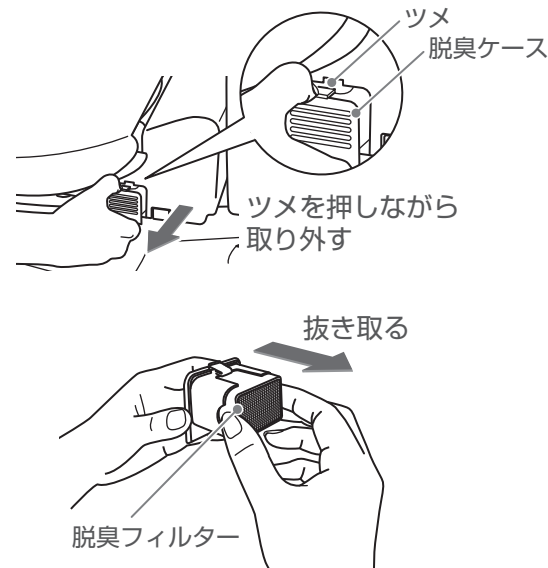
月1回のお手入れ

脱臭フィルターにほこりが溜まると、脱臭効果が弱まります。

1 電源プラグを抜く

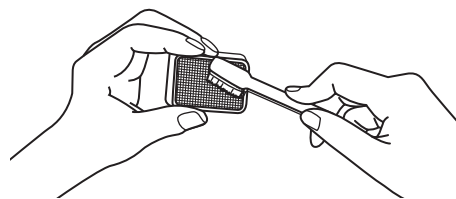


2 脱臭ケースを取り外し 脱臭フィルターを抜き取る

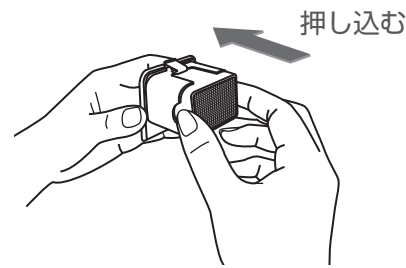


3 歯ブラシなどで掃除をする

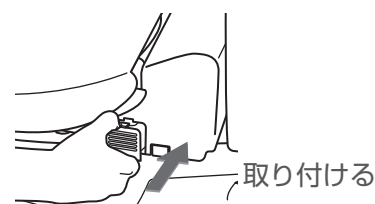
※脱臭フィルターは濡らさないでください。



4 脱臭フィルターを脱臭ケースに押し込む



5 脱臭ケースを取り付ける

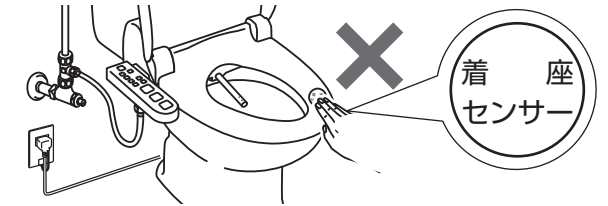


ノズルのお手入れ

月1回のお手入れ

ノズルの吐水口が汚れなどで詰まっていると洗淨水が斜めに出たり、水の勢いが弱くなります。

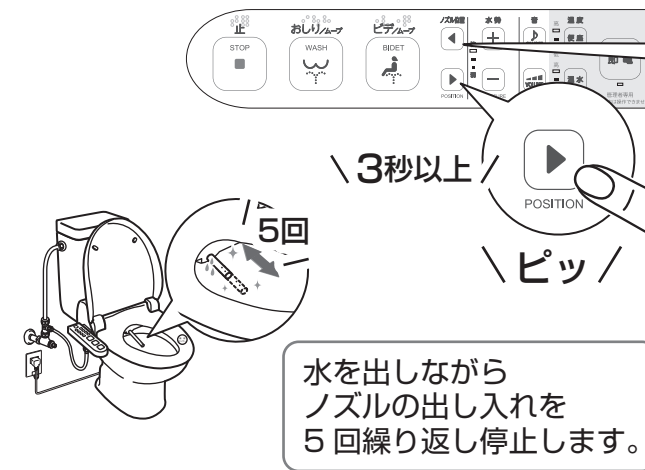
- 電源プラグは差したまま作業してください。
- お手入れ中は着座センサーに触れないでください。



ノズル自動洗淨

自動でノズルを洗淨する便利なお手入れ機能

▶ を3秒以上「ピッ」と音がするまで長押し



汚れが気になる場合

1 ◀ を3秒以上「ピッ」と音がするまで長押し
→ノズルが出て止まります。

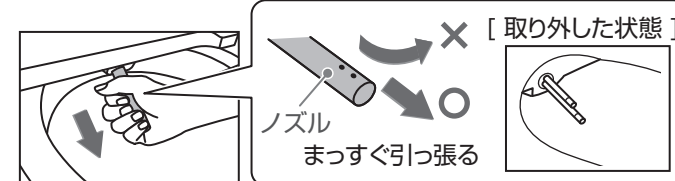


ノズルの交換方法 交換用ノズルは別売りです。Detoコールセンターへ連絡してください。→P.35・36

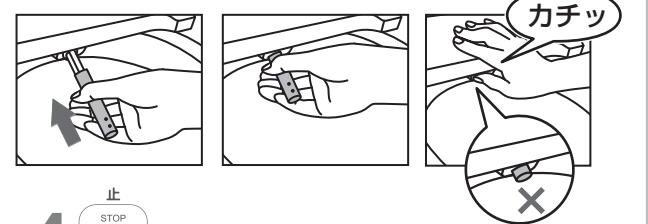
1 ◀ を3秒以上「ピッ」と音がするまで長押し
→ノズルが出てくる



2 ノズルをまっすぐ引っ張り取り外す
※斜めに引っ張ると折れたり故障の原因になります。



3 新しいノズルをまっすぐ差し込む
※カチッと音がして止まるまで押し込む



4 止を押す

※ 止を押さないで次回使用時に正常に動作しません。

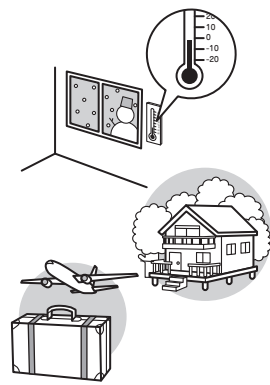
禁止 ノズルが抜けた状態で戻さない (故障の原因)

凍結予防・長期間使用しないとき

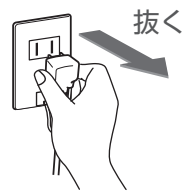
水抜きの方法

水抜きが必要なとき

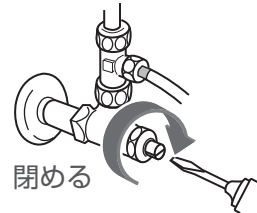
- 冬期などの冷え込みで配管や本体内部の水が凍結するようとき
(配管や本体内部が破損して水漏れの原因)
- 旅行などで長期間使用しないとき
- 別荘などで長期間使用しないとき
(水の汚れによる詰まりの原因)
(水が腐敗して皮膚の炎症などの原因)



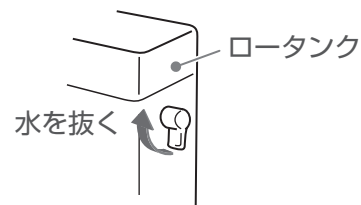
1 電源プラグを抜く



2 止水栓を閉める

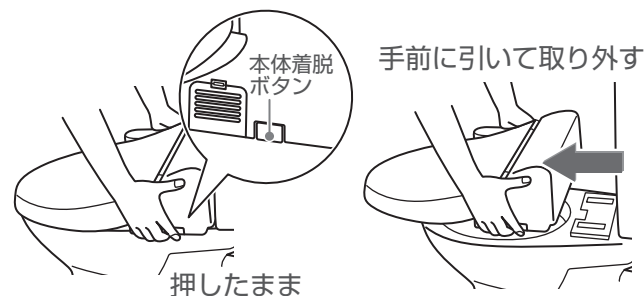


3 ロータンクの水を抜く



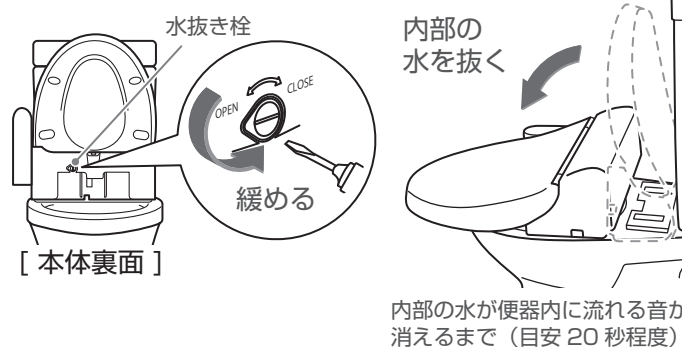
4 本体着脱ボタンを押したまま本体を手前に引いて取り外す

※本体給水ホースなどに無理な力を加えないように注意してください。

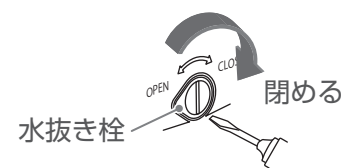


5 本体裏面にある水抜き栓を左に90度回して緩め、内部の水を完全に抜く

※コインやマイナスドライバーを使用してください。

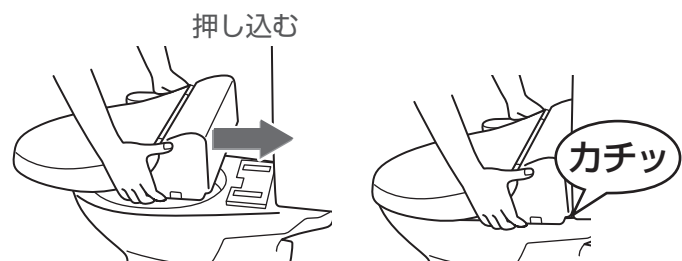


6 水抜き栓を右に90度回して閉める



7 本体をロータンクの方向に「カチッ」と音がするまで押し込んで取り付ける

※電源コードを挟まないように注意してください。



[再開(再通水)させるとき]

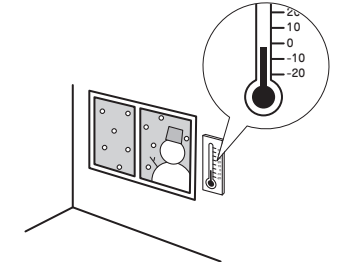
止水栓を開け、電源を入れる →P.14・15

凍結予防の方法

凍結予防が必要なとき

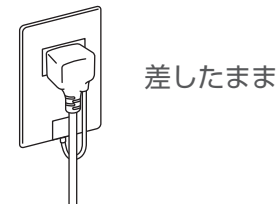
- 冬期などの冷え込みで、配管や本体内部の水が凍結するようとき
(配管や本体内部が破損して水漏れの原因)

※寒冷地の場合は「水抜き」→P.31 をしてください。



電源を入れておく

※温水タンクの保温機能で凍結予防になります。



給水配管を布などで覆って保温する



トイレ室内を暖める

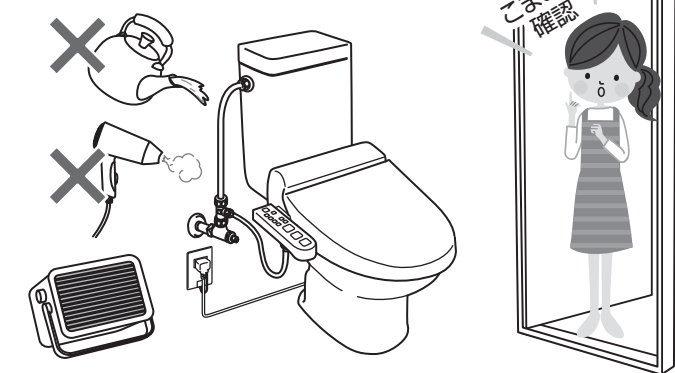
※暖房器具の注意書きに従ってご使用ください。



[凍結して水が出ないとき]

室内を暖めて自然解凍をお待ちください。

- 給水ホースに熱湯や熱風をかけないでください。
- 解凍中はこまめに様子をうかがってください。
(凍結部分によっては、解凍中に水が噴出することがあります)



故障かな?と思ったら(よくあるお問 合わせ)

故障したままでは使用しない
(火災・感電・ケガ・室内浸水の原因)

● 異常・故障時には電源プラグを抜き、止水栓を閉め、直ちに使用を中止する
下記項目に当てはまる場合は、すぐに販売元に連絡してください。

配管接続部や本体内部で水漏れしている・本体にひび割れや破損がある・異音(脱臭ファンや作動時の音を除く)や異臭(こげ臭)がする・電源プラグや電源コードが異常に熱くなっている・電源コードを動かすと、電源が切れたり、入ったりする・発煙しているなど

抜く
閉める

禁止

修理を依頼される前に、ご確認ください。
処置しても直らない場合や記載以外の症状は 販売元に相談してください。

最初に本体の電源が入っていることをご確認ください。

①コンセントに電源プラグが差さっていることを確認する

②操作部の「止」をボタンを押す

水勢
+
-
水勢ランプが点灯すれば電源が入っています。

故障かな?と思ったら(よくあるお問合わせ)

症状	ご確認ください		
おしり・ビデ洗浄	おしり・ビデ洗浄が 使えない (ノズルが出ない)	●着座センサーに肌が触れていないと使えません。 便座カバーがついていたり、身体と着座センサーの間に衣類やトイレットペーパーなどが挟まっていると感知しません。	17ページ
	温水の温度が低い (冷たい)	●設定温度により、冷たく感じる場合があります。 ●節電モードまたは8時間タイマー節電モードになっていると冷たく感じる場合があります。	19,20ページ 20ページ
	以前使用していたもの より洗浄の勢いが弱い	●省エネ基準達成のための設計により、以前の機種に比べて洗浄の勢いが弱く感じる場合があります。	-
	温度の調節ができない	●操作のロックを外さないと、温度設定はできません。	19ページ
	設定が勝手に変わる	●電源プラグの抜き差し・停電時は、初期設定の状態に戻ります。	21ページ
	洗浄の勢いが設定ができない	●着座センサーに肌が触れていないと設定できません。	17ページ
	洗浄中に温水が水になる (ぬるくなる)	●水勢の設定によって、タンク内の温水が早く冷たくなります。 5~7分程度待つと再度温水を使用できます。	-
	ノズル付近から水滴が 落ちる	●ノズル出口付近から漏れる水滴は温水タンク内の蒸気圧 またはノズル内の残水によるもので故障ではありません。 ●セルフクリーニング機能により、おしり・ビデ洗浄前と 停止後に水滴が落ちますが異常ではありません。	15ページ 22ページ
	使い始めたときより 洗浄の勢いが弱くなった	●ノズルの吐水口が詰まっていますか。 ●ストレーナにゴミなどが詰まっていますか。	30ページ 25ページ
	ノズルを清掃したい	●ノズル自動洗浄機能をご使用ください。	30ページ
流水音	流水音が勝手に流れる	●座ると、自動で擬音(流水音)が流れる設定になっています。 ●手動に設定できます。	21ページ
	節電設定ができない	●操作のロックを外さないと、節電設定はできません。	19ページ

症状	ご確認ください		
脱臭	脱臭ファンが動かない	●自動脱臭機能が切れていないか確認してください。	21ページ
	便座の温度が低い (冷たい)	●設定温度により、冷たく感じる場合があります。 ●節電モードまたは8時間タイマー節電モードになっていると冷たく感じる場合があります。	19ページ 20ページ
便座	座った時に便座から きしみ音がする	●きしみ音は、便器の成形段階でできる若干の歪みなどが原因で、便座と便器の間にわずかな隙間ができて発生することがあります。異常ではありません。	17ページ
	温度の調節ができない	●操作のロックを外さないと、温度設定はできません。	19ページ
	便座がグラつく	●本体をワンタッチで着脱するために設けた隙間により、若干のグラつきを感じる場合があります。(設計仕様であり異常ではありません。)	-
		●本体の取付プレートの取付ボルトが緩んでいないか確認してください。	13ページ
		●便座に対し横から座ると便座がズレたり、グラツキの原因となります。	17ページ
●本体の取付プレートには滑り止めがついていますが、便器に特殊な表面コーティング加工がされていると滑る場合があります。	-		
●ロータンクのタイプにより、取付プレートの設置面積が狭いことでグラつきを感じる場合があります。	-		
その他	すべての機能(操作)が 使用できない	●操作部の「便座」または「温水」のランプが点滅していないか確認してください。 ●漏電していると漏電遮断装置が動き、すべての機能が使用できません。	22ページ 22ページ
	水漏れがする	●給水ホースの接続部がしっかり締まっているか確認してください。 ●水抜き栓がしっかり閉まっているか確認してください。	14ページ 31ページ
	電源を切りたい	●電源プラグを抜いてください。	-

故障かな?と思ったら(よくあるお問合わせ)

交換部品

交換部品一覧

…お客様ご自身で交換可能な部品

※その他の部品交換はDetoコールセンターまでお問い合わせください。

① 操作パネル

便座用ダンパー

主な症状 便座のスローダウン (ゆっくり降りる)が効かない

操作基板

主な症状 ボタンが効かない

タンクユニット

主な症状
・洗浄水が出ない
・水漏れする
・洗浄水が冷たい

④ 便ふた用脚ゴム

⑤ 便ふた

便ふた用ダンパー

主な症状 便ふたのスローダウン (ゆっくり閉じる)が効かない

メイン基板

主な症状 電源が入らない

擬音装置

主な症状 電源が入らない

⑥ 脱臭フィルター

脱臭ファン

主な症状
・脱臭ファンが動かない
・音がうるさい

ノズルユニット

主な症状 ノズルが出ない

⑦ ステンレスノズル

便座ユニット

主な症状 便座が冷たい

⑧ 便座用脚ゴム

⑨ 取付プレートセット

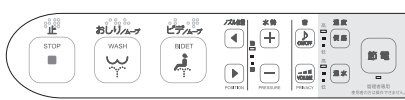
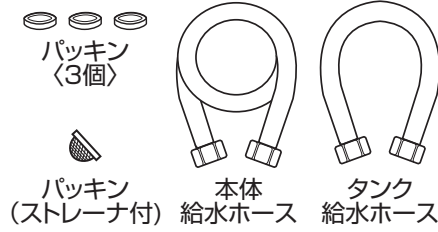
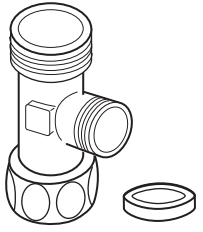
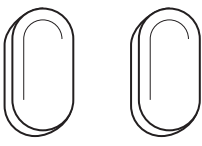
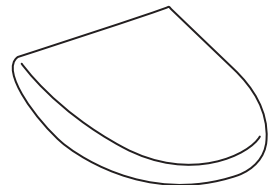
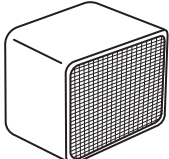
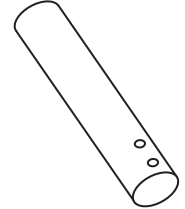
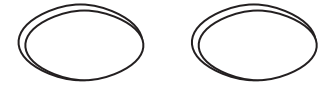
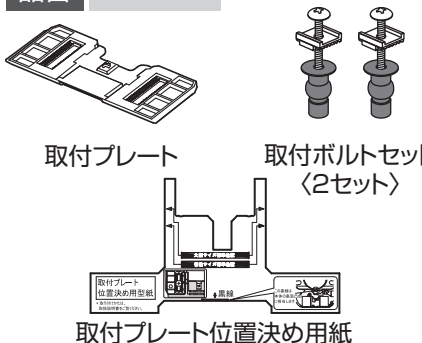
② 給水ホースセット

③ 分岐金具 (パッキン付)

電源コード

本製品は、リフォーム構造により、お客様ご自身で部品を一部交換(有償)することが可能で、きれいな状態を保つことができます。

お客様ご自身で交換いただける部品

<p>① 操作パネル</p> <p>品番 31728</p> 	<p>② 給水ホースセット</p> <p>品番 31153</p> 	<p>③ 分岐金具 (パッキン付)</p> <p>品番 31143</p> 
<p>④ 便ふた用脚ゴム</p> <p>品番 31142</p>  <p>〈2個〉</p>	<p>⑤ 便ふた</p> <p>品番 31845(TW)</p>  <p>※便ふた用脚ゴム付</p>	<p>⑥ 脱臭フィルター</p> <p>品番 31139</p> 
<p>⑦ ステンレスノズル</p> <p>品番 31136</p> 	<p>⑧ 便座用脚ゴム</p> <p>品番 31141</p>  <p>〈2個〉</p>	<p>⑨ 取付プレートセット</p> <p>品番 31541</p>  <p>取付プレート 取付ボルトセット (2セット) 取付プレート位置決め用紙</p>

交換部品専用 お問い合わせ・ご購入

Detoコールセンター



0120-571-131

【受付時間】9:00~18:00(土日祝を除く)

■ サポートガイド

交換マニュアルのダウンロードサイト



<http://www.deto.co.jp/support/deto/index.html>

仕様

型 式	DW-312	
定 格	単相AC100V 50/60Hz 456W	
区 分※1	貯湯式	
年間消費電力量※2	149kWh/年 (208kWh/年)	
給 水	方 式	水道直結方式
	使 用 圧 力	0.07~0.75MPa
洗 浄 装 置	おしり吐水量	約0.35~約0.6L/分 (動水圧0.2MPaのとき)
	ビデ吐水量	約0.35~約0.55L/分 (動水圧0.2MPaのとき)
	タンク容量	0.7L貯湯式
	温 度 調 節※3	マイコン制御、3段階調節 (約33/36/39℃) 及びヒーター「切」 節電時約30℃
	ヒーター容量	401W
	安 全 装 置	温度ヒューズ、サーモスタット、水位センサー、温度感知センサー
暖房便座	温 度 調 節※3	マイコン制御、3段階調節 (約33/36/39℃) 及びヒーター「切」 節電時約30℃
	ヒーター容量	50W
	安 全 装 置	温度ヒューズ、温度感知センサー
使 用 温 度 範 囲	給水温度: 0~33℃ 周辺温度: 0~40℃	
脱 臭 方 式	触媒フィルター(活性炭)	
擬 音 装 置	水の流れる音 (3音) / 音量調節3段階	
そ の 他 の 安 全 装 置	漏電遮断機能 (15mA 0.03秒以内)	
コ ー ド 長 さ	1.2m	
製 品 寸 法	幅 約473mm×奥行 約535mm×高さ 約149mm	
製 品 質 量	3.9kg	

※1 省エネ法 (2012年度基準) の区分

※2 省エネ法 (2012年度基準) に基づいた測定値 () 内は節電機能を使用しない場合の年間消費電力量

※3 ご使用の環境条件により、数値が変わる場合があります。

※ この製品は日本国内専用です。

※ 仕様・デザインは改良のため予告なしに変更することがあります。あらかじめご了承ください。

重大事故防止のためのお願い

温水洗浄便座は電気製品です

故障したままのご使用や長年のご使用は、
電子・電気部品が劣化し発煙発火の恐れがあります。

日ごろのご使用にあたり、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。



定期的な点検をおすすめします

安心してご使用いただくため、定期的な点検をおすすめします。
また、長期間(10年以上)ご使用の温水洗浄便座は買い替えをご検討ください。

定期点検項目

下記項目に1つでも当てはまる場合はすぐに電源プラグを抜き、
止水栓を閉めて、発売元に連絡してください。

- 便座用脚ゴムが外れている、ガタツキがある
- 電源コードがねじれたり便座で挟み込んだりしている
- 便座にひびや割れがある
- 便座が異常に熱いときや、冷たいときがある
- 本体から水漏れしている
- 操作部のシールがめくれたり、ひび割れたりしている
- 電源コードが熱くなっている
- 電源プラグの差込部が発熱・変色している
など



故障したまま使わないでください

火災や感電、室内浸水の原因になります。異常に気付いたら、すぐに電源プラグを
抜き、止水栓を閉めてご使用を中止し、販売元に連絡してください。